

手で考え、  
心でつくる。

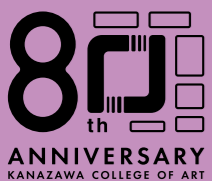
Kanazawa College of Art

# KANAZAWA BIDAI 2027

令和9年度 一 学 校 案 内

2027

金沢美術工芸大学



公立大学法人 金沢美術工芸大学  
〒920-8656 石川県金沢市小立野2丁目40番1号  
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

2-40-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa 920-8656 Japan  
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594  
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>



2026年(令和8年)4月発行 本書に掲載されている情報は2026年3月時点のものです。



# 大学憲章

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

# 沿革

1946	下本多町三番丁（現出羽町）に金澤美術工芸専門学校（本科3年、予科1年制、美術科45人、陶磁科30人、漆工科30人、金工科15人、計120人）を設立	1997	大学院博士後期課程美術工芸専攻を設置
1950	金澤美術工芸短期大学（3年制、美術科45人、工芸科75人、計120人）を設立	1998	国際的芸術家滞在制度を発足（～2006） 芸術学専攻、デザイン科3専攻が推薦入学を実施
1954	産業美術相談所を設置	2000	大学院修士課程再編により絵画・彫刻・芸術学・工芸・デザイン専攻の5専攻が発足 図書館棟増改築工事が完成
1955	金沢美術工芸大学（4年制、美術学科〔絵画専攻・彫刻専攻〕40人、産業美術学科〔商業美術・工業意匠〕60人、計100人）を設立	2001	運営諮問会議を設置（～2010）
1965	美術学科定員を1学年40人から55人に増員、商業美術を商業デザイン専攻に、工業意匠を工業デザイン専攻にそれぞれ変更 産業美術学科に工芸・繊維デザイン専攻（1学年15人）を設置	2005	大学院修士課程（デザイン専攻）にファッションデザインコースを設置（～2020） 美術工芸研究所に産学連携センターを設置
1966	教職課程（正規・聴講）を設置 図書館及び実験研究棟が完成	2006	美術工芸研究所を再編し、教育研究センター、地域連携センター、産学連携センター、国際交流センターの4センターが発足
1970	伝統工芸聴講生制度を設置（～2011）	2007	美術工芸研究所を造形芸術総合研究所に改称 芸術学専攻定員を1学年10人から15人に増員
1971	博物館学課程を設置	2008	財団法人大学基準協会の大学基準適合認定
1972	美術工芸研究所を設置 小立野5丁目11番1号の新校舎に移転	2010	アートギャラリーを開設（～2014） 公立大学法人金沢美術工芸大学に移行 造形芸術総合研究所を美術工芸研究所に改称
1973	研究生制度（学部）を設置（～2017） 市民講座を開設（～2006）	2011	問屋まちスタジオを開設 アートベース石引を開設
1974	工芸・繊維デザイン専攻を工芸デザイン専攻に変更	2014	柳宗理記念デザイン研究所を開設
1977	市民工房を開設（～2004）	2016	社会連携組織を再編し、社会連携センターに地域連携部門、産学連携部門、知財管理部門を設置 アジア美術戦略会議、キャリア支援室が発足
1979	大学院修士課程（絵画・彫刻専攻、産業デザイン専攻）を設置	2017	美術工芸研究所ギャラリーを開設
1980	大学院棟が完成 夜間教養講座を開設（～1991）	2018	大学院美術工芸研究科に研究生制度を設置
1985	石彫棟を新築	2023	入学定員の一部変更とデザイン科の改編により、美術科（日本画専攻・油画専攻・彫刻専攻・芸術学専攻）65人、デザイン科（ホリスティックデザイン専攻・インダストリアルデザイン専攻）60人、工芸科30人の教育課程に移行  大学院修士課程（絵画専攻）に映像コースを設置、絵画専攻定員を1学年10人から14人に増員、工芸専攻定員を1学年9人から13人に増員、デザイン専攻定員を1学年10人から6人に減員  小立野2丁目40番1号の新校舎に移転（敷地面積47,212.87㎡、建物面積37,357.65㎡）  共通工房を設置
1986	美術学科に芸術学専攻（1学年10人）を設置 美術工芸研究所棟、美大ホールが完成	2024	社会連携センターを発展的に解消し、社会共創センターを設置
1990	大学院修士課程（芸術学専攻）を設置		
1991	大学院修士課程工芸デザイン専攻定員を1学年15人から20人に増員		
1992	工芸実習棟が完成		
1993	共通造形センターが発足（～2010）		
1996	学科再編により美術科（日本画専攻・油画専攻・彫刻専攻・芸術学専攻）65人、デザイン科（視覚デザイン専攻・製品デザイン専攻・環境デザイン専攻）60人、工芸科20人が発足		

# 活動指針

## 創作の意欲と能力を育てる教育の推進

Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。

## 質の高い研究とオリジナリティの追求

Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

## 地域と世界に貢献する芸術活動の展開

Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

## 自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展

Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。



金沢美術工芸大学  
KANAZAWA COLLEGE OF ART

# 手で考え、 心でつくる。

学問を好み、伝統を愛してその歴史を紡いできたまち、金沢。  
工芸が今も生活のなかに息づくこの地は、ものづくりのまちでもあります。

金沢美術工芸大学は、戦後の困難な時代のなか、  
人のつくる力を信じる金沢の市民が、その心でつくった大学です。  
この大学には、「手で考え、心でつくる。」ということばがあります。  
ここで教鞭をとったある教員が残したこのことばは、  
ものをつくることが  
「つくりながら、試み、考える」ことであること、  
「心をこめて」行うことであることを教えてください。  
この大学で、たくさんの先輩たちが  
「つくりながら、試み、考える」ことを繰り返し、  
「心をこめて」作品をつくりあげ、世界へ飛び立っていきました。

「手で考え、心でつくる。」  
今日も金沢美術工芸大学では、このことばのもとで、  
学生たちが学び、鍛錬を重ねています。  
ものをつくること、そして  
ものをつくることについて真剣に考えること。  
それを志すあなたの豊かな力になる時間が、ここにある。  
私たちは、そう信じています。

## ご挨拶



金沢美術工芸大学 学長 山村 慎哉  
President YAMAMURA Shinya

芸術とは、完成された形を提示するためだけの営みではありません。言葉にならない違和感や、まだ社会の中で十分に扱われていない感情に輪郭を与えること。あるいは、見過ごされてきた課題に新たな解決の道筋を示し、人と社会の関係を組み替えていくこと。その領域は、美術にとどまらず、デザインや工芸を含め、社会と向き合うあらゆる創造へと広がっています。選択肢が増え、判断の速さが求められる時代において、私たちは「どう考え、どこに立つのか」を、これまで以上に問われています。

生成AIの急速な普及は、制作や作業の能率を大きく高め、表現の可能性を広げました。便利になったからこそ、より自覚的な選択が求められます。技術が制作を助けるからこそ、なぜつくるのか、何を引き受け、何を委ねるのかという意志が、個人に返されているのです。表現や提案は自由であると同時に、社会の中でどのように機能し、どう関わるのかという責任を伴います。その問いから目を逸らさないことが、これからの創造には不可欠だと考えています。

世界に目を向ければ、戦争や分断、孤立や排除が、私たちの日常と地続きのものとして存在しています。災害や気候の変化は、復旧や再生のあり方を問い続けています。こうした状況の中で、創造は、常に即効性のある答えを示せるわけではありません。しかし、簡単に割り切れない問題に対して、考え続けるための視点や形を届けることはできます。正しさを競うためではなく、異なる立場や価値観が出会い直し、関係を編み直すためにこそ、美術やデザイン、工芸を含む芸術は力を発揮してきました。

大学での学びは、知識や技術を身につけることだけで完結するものではありません。自分の内側に生まれた違和感や、他者や社会とのズレを問いとして引き受け、それを時間をかけて育てていく過程そのものが創造の核心です。制作や研究は、一直線には進みません。遠回りや停滞、失敗の経験が、後になって表現や提案の芯となり、思考の密度を高めます。結果や評価が即座に可視化される時代だからこそ、問いが熟するための時間を確保する姿勢が重要になります。

そうした思考の粘り強さを支える基盤が、「体感」です。バーチャルな情報や非身体的な知能が溢れる今だからこそ、身体を動かし、手で触れ、場に身を置く経験は欠かせません。素材と向き合い、人と対話し、試行錯誤を重ねる。その積み重ねが、創造を現実と結びつけ、表現や提案に確かな手触りを与えます。本学は、そうした実感のある創造が育つ環境を整え、伝統と革新を往復しながら、技術と思想が結びつく場であり続けたいと考えています。

大学で過ごす時間は限られています。だからこそ、迷いを先送りにせず、早く試し、つまずき、その経験を引き受けてください。その一つひとつが、皆さんの創造を支える基礎になります。金沢美術工芸大学は、学生一人ひとりが自分の問いを手放さず、社会と向き合い続けられる大学でありたいと願っています。ここで育った問いが、皆さんの未来だけでなく、社会の新たな思考の起点になることを期待しています。

## 目次

大学憲章・沿革	002
活動指針	003
学長挨拶	006
キャンパス紹介	008
活躍する卒業生	012
日本画	018
油画	022
彫刻	026
芸術学	030
ホリスティックデザイン	034
インダストリアルデザイン	038
工芸	042
一般教育等／基礎科目	046
修士課程	050
博士後期課程	054
美術工芸研究所	058
教育研究センター・柳宗理記念デザイン研究所	060
社会共創センター	061
国際交流センター	062
附属図書館	063
学生生活	064
大学の組織・学生数等	065
入学試験結果・学費等	066
教員一覧	068
アクセス	070
金沢のまち	071

# KANABI Campus

# Introduction

キャンパス紹介



## 開かれた美の探求と 創造のコミュニティ

すべての学生が専門分野を越えて創作する「共通工房」をリング状に配置するとともに、展示や合評を行うスペースである「アート commons」を随所に分散して配置することにより、様々な領域の垣根を越えて交流するキャンパスです。



### アート commons

キャンパス内の随所に設けられている「アート commons」は、多様な作品の展示や合評が行われ、学生同士が刺激しあえる空間となっています。最も広い展示空間のアート commons A は、500㎡を超える広さがあり、大型の作品展示も可能です。



### 共通工房 KANABI Studio

学生が公平かつ自由に制作できる創作の場です。キャンパスの中庭に位置する創作の庭を取り囲むように設置され、専門性に応じて「絵画エリア」「彫刻・デザインエリア」「工芸エリア」「メディアエリア」の4つのエリアに67の工房があります。各工房には高度な専門知識を持った技術専門員が配置され、技術面と安全面のサポートを受けることができます。領域を横断する現代の表現に相応しい制作を支え、自由で主体的な学びのプラットフォームとして重要な役割を果たしています。

#### 絵画エリア



#### 彫刻・デザイン エリア



#### 工芸エリア



#### メディアエリア



# KANABI Campus Introduction



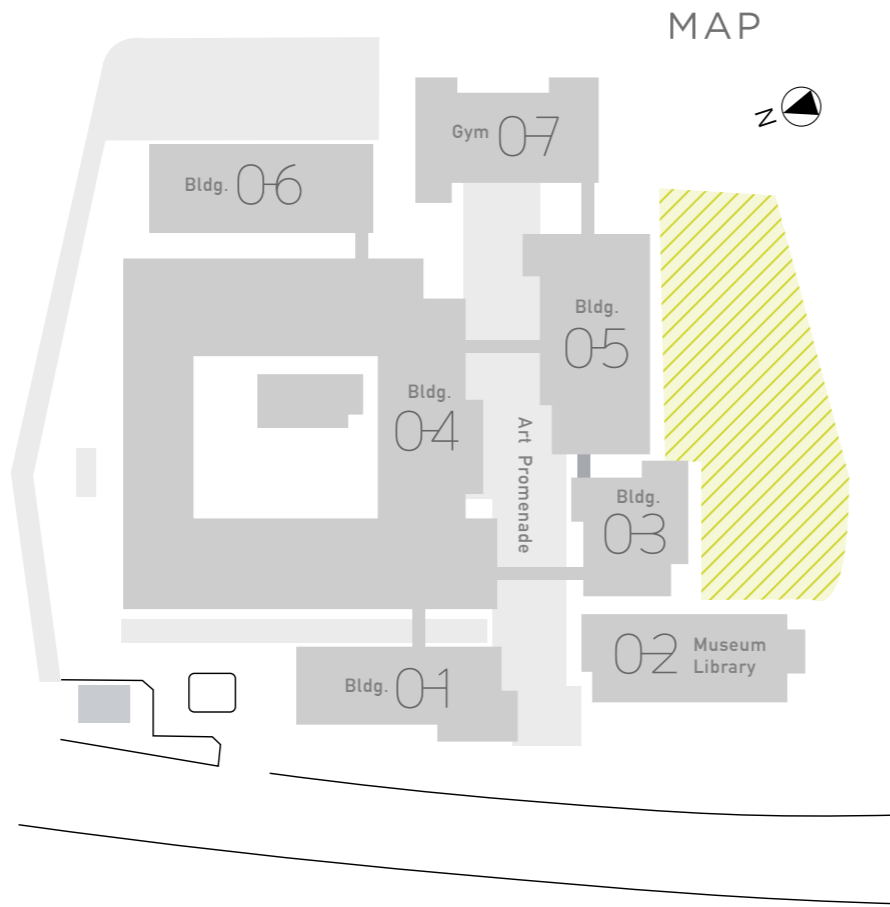
## ビオトープ

代々の美大生に親しまれてきた亀や鯉を題材に制作活動も可能な憩いの場です。



## 遊歩道／屋外モニュメント

辰巳用水に沿って緑や水を感じながら気軽に散策できる歩行者空間です。遊歩道脇には卒業買上作品を屋外モニュメントとして配置しています。



MAP



# 01

## 1号館

- 学長室     アートcommons ラウンジ
- 事務局     会議室
- 保健室     一般教育等
- 講師控室     芸術学
- 守衛室     技術専門員室
- 美術工芸研究所



### メインエントランス

おなじみの「ニケ像」が迎えるメインエントランスは明るく開放感にあふれた空間となっています。



# 02

## 美術館 図書館

- 図書館                     レクチャーホール
- アートギャラリー         アートcommons ホワイエ
- 平成の百工比叢コレクション



### 美術館・図書館

美術工芸研究所が取り組む「平成の百工比叢コレクション」を実際に手に取って見ることができるほか、約13万冊の美術関連書籍を収蔵し、学生や教職員の教育や研究、学習ニーズに応えます。



### 講義室

アートプロムナードに面した出入りしやすい場所にある講義室は、授業のほかに外部講師による講演会などにも利用されます。



### 学生ラウンジ

地元の食品会社が定食などを販売しており、一般の方でもご自由に利用いただけます。

## 3号館

# 03

- 学生ラウンジ
- 講義室
- 売店
- アートcommons D



### 共通工房

創作の庭を中心に工芸、絵画、彫刻／デザインエリアの共通工房が配置されています。



### アートcommons

キャンパス内の展示空間です。授業の展示や合評が行われ、一般市民の方もご入りいただけます。

## 4号館

# 04

- 共通工房
- 日本画
- 油画
- 彫刻
- 芸術学
- ホリスティックデザイン
- インダストリアルデザイン
- 工芸
- アートcommons A・B・C



### プレゼンルーム

授業での利用のほか、就職ガイダンスなどにも利用されます。



## 5号館

# 05

- ホリスティックデザイン
- インダストリアルデザイン
- アートcommons E



### 共通工房

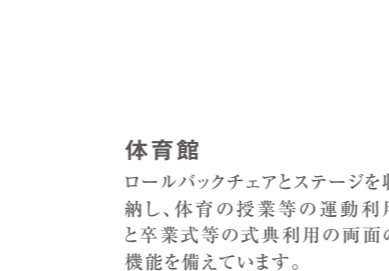
メディアエリアの共通工房が配置され、デジタルコンテンツ制作をはじめとする様々な特性に応じた作業を行うことができます。



## 6号館

# 06

- 共通工房
- 油画
- アートcommons F



### 体育館

ロールバックチェアとステージを収納し、体育の授業等の運動利用と卒業式等の式典利用の両面の機能を備えています。



## 体育館

# 07

- アリーナ
- アートcommons ホールホワイエ

# 活躍する卒業生



岩田 壮平 (大学院日本画 2002年修了)  
「雪月花時最憶君-花泥棒」 第6回東山魁夷記念 日経日本画大賞展 大賞



高松 美咲 (油画 2014年卒業)  
講談社「スキップとローファー(11) (アフタヌーンKC)」  
(2024年)

金沢の自然や金美特有の文化の中、  
夢中で制作に打ち込めます！

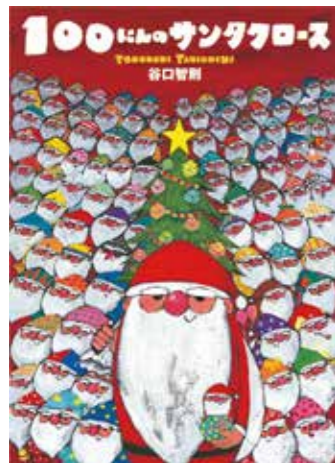


婦木 加奈子 (彫刻 2019年卒業)  
「洗濯物の彫刻」(2022年) 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館  
「第1回 MIMOCA EYE/ミモカアイ」展示写真 撮影:宮協慎太郎

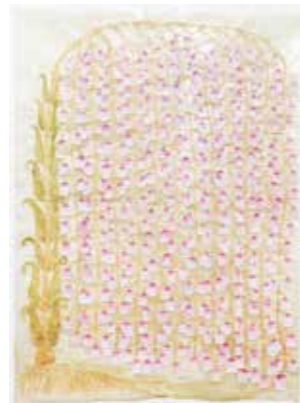
じっくり制作し、絵と向き合える環境で  
卒業後も支えになっています。



中田 日菜子 (大学院日本画 2023年博士後期課程単位取得満期退学)  
「蛇を踏む」2023年博士後期課程満期修了買上げ



谷口 智則 (日本画 2003年卒業)  
「100にんのサンタクロース」文溪堂  
2013年発売



今村 文 (大学院油画 2008年修了)  
「花ひとつ(ピンクのすずらん)」



工藤 彩 (大学院日本画 2021年修了)  
「ラビットホール」第11回日展 特選



野村 由香 (彫刻 2017年卒業)  
「Repetitive Activity in Toyama City」(2023年)



多々見 草太 (大学院彫刻 2023年修了)  
「puma punk」(2022年)



丹羽 啓 (大学院彫刻 2019年修了)  
「生の発掘」(2022年)

人生は楽しんだもの勝ちだと思います。  
毎日を笑って過ごすのも寂しく過ごすのも自分次第！



沖田 愛有美 (大学院博士 油画 2024年修了)  
「ほほえみのピオトープ」(2024年)  
木板に寒冷紗、漆、金属粉、珪藻土



古市 牧子 (油画 2009年卒業)  
「Hairy sky, warm rain」2023年  
壁画(水彩)、水彩画、シャガールのリトグラフ「Le Prophète Elie, 1970」を構成  
Copyright : Massabo Patrick



山崎 菜未 (芸術学 2009年卒業)  
ポーラ美術館学芸員



立浪 佐和子 (大学院芸術学 2005年修了)  
横須賀美術館学芸員



若山 満大 (芸術学 2013年卒業)  
東京ステーションギャラリー学芸員

大きく未来に開かれた  
素敵な時間をめいっぱい  
楽しんでください!



尺戸 智佳子 (大学院芸術学 2005年修了)  
金沢21世紀美術館学芸員



西出 衣織 (大学院デザイン専攻 環境デザインコース 2012年修了)  
TBS「ラヴィット!」セットデザイン



谷 清風 (環境デザイン 2017年卒業)  
乃村工芸社 本社リニューアル クリエイティブ執務フロア



Hurray! (ぼぶりか、おはじき、まごつき)  
(視覚デザイン 2014、2016年卒業)  
映画『数分間のエールを』2024年初夏全国公開



福岡 南央子 (視覚デザイン 1999年卒業)  
金沢マラソン アートディレクション

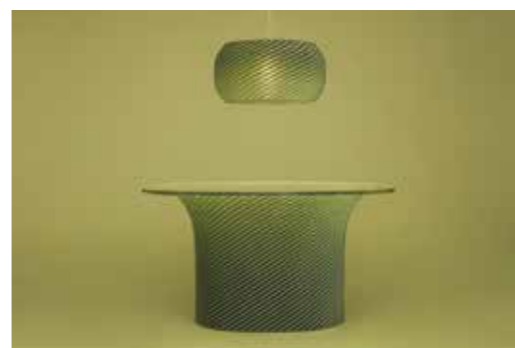
作品をつくれば、  
自分と社会がどんどん見えてくる。  
楽しいよ!



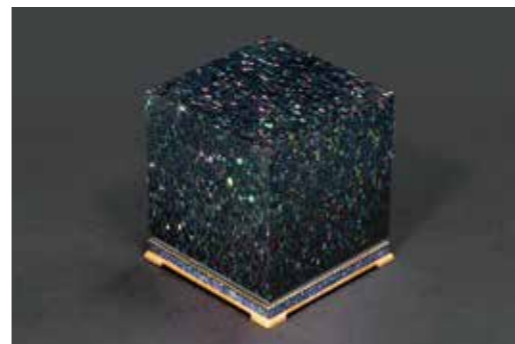
愛場 和樹 (インダストリアルデザイン 1994年卒業)  
SUBARU BRZ エクステリアデザイン (株)SUBARU



別所 潮 (インダストリアルデザイン 2015年卒業)  
LAMDASH PALM IN ES-PV series パナソニック(株)  
GOOD DESIGN AWARD 2023 金賞受賞



鈴木 僚 (インダストリアルデザイン 2016年卒業)  
SORI/MUKURI(TATAMI ReFAB PROJECT)  
HONOKA / ヤマハ(株)



池田 晃将 (大学院工芸 2016年修了)  
「電光十進玉箱」電光装飾-Cyber Effect-池田晃将 漆芸展(日本橋高島屋)



岩村 達 (大学院工芸 2013年修了)  
[Neo Jomon\_ Still Dreaming Girl]  
2022 個展 [Always Lonely] New York City、ニューヨーク州、アメリカ



石津 雄登 (インダストリアルデザイン 2013年卒業)  
AI\_DRONE ソニー(株)



織田 準生 (大学院工芸2017年修了)  
「Hybrid "Dodecahedron×Spiral"」  
2022 Solo Exhibition Goldwin Beijing、中国

やりたいことを、自由に目一杯、  
させていただいた学生生活でした。



家長 百加 (大学院工芸2024年修了)  
「Transform series光を扇ぐ」  
2022年「工芸2022」オーディエンス賞  
2023年「2023年伊丹国際クラフト展 ジュエリー」入選  
2024年「Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2024」MUFG特別賞



## 美術工芸学部

美術科

日本画専攻  
油画専攻  
彫刻専攻  
芸術学専攻

デザイン科

ホリスティックデザイン専攻  
インダストリアルデザイン専攻

工芸科



## 100年後に残る絵画を目指して。

美しい岩絵の具、本質をとらえた表現…この国に伝わる日本画と呼ばれる独自の絵画表現は時代とともに幅を広げつつ進化を遂げてきました。しかしこの表現方法の習得には古来より様々な「画派」の存在が示すように、やる気や根気とともに段階を踏まえた教育が必要でした。本学の日本画では緻密に計算されたカリキュラムで日本画技術の基礎から伝統的表現を経て未来に羽ばたく日本画表現を目指す人材をアシストします。

### 1年次

日本画で使う岩絵の具や膠など独特な画材は扱いに高度な技術を必要とします。1年次は基礎描写や古典絵画の模写を通して日本画のものの捉え方や見方を学び、日本画の伝統的な画材を体得していきます。

基礎描写 古典絵画模写  
その他実習



基礎描写 スルメとネギ



基礎描写 技法の指導



基礎描写 鯉



着色模写 伴大納言絵巻

### 2年次

2年次は写生、下図、大下図、本紙制作という日本画の基本的な制作プロセスを学んでいきます。その過程で和紙の裏打ちや水張りなどの基本的な技術を修得します。また、絹本による制作を体験し、伝統的な素材や画材の扱いと表現の関わりを学びます。

基礎表現技術 課題制作  
伝統的基礎技術 その他実習



課題制作 写生指導



課題制作 小下図講評会



課題制作 50～60号



絹本課題 花卉

### 3年次・4年次

3年次からは150号という大きな作品に取り組みます。自分の身体より大きな作品制作に懸命に取り組むことで、より深く表現と向き合っていきます。3年後期～4年前期は自身の制作を独自に研究する期間とし、伝統に基づいたもののみならず、現代に生きる等身大の感覚によって対象を捉えていきます。4年後期には卒業制作に取り組みます。学生ごとに身につけたものの見方と技術が身につく、各々の日本画が生み出されます。

自由課題制作 学内展示発表  
その他実習 卒業制作



截金実習



自由課題 150号制作



巡回指導



卒業制作プレゼン



課題制作展示作業



課題制作講評会



卒業制作



卒業制作展

### 少人数制による細かな指導

1学年15人に対して5人の専任教員が1年次から指導を行います。3年次からは20名以上の非常勤講師も加わり、学生それぞれの独自の表現を追求していきます。また、毎年5月には全学年で信州に郊外写生研修に行きます。講評会では先輩方の写生を見ながら表現について深く学び、学年を超えて交流していきます。



郊外写生研修



全学年での講評会

### 卒業後の進路・活躍

【就職】日本画家(日展・院展・創画会等各公募系列他)／大学教員(京都市立芸術大学、佐賀大学、武蔵野美術大学、名古屋芸術大学、東北芸術工科大学、京都精華大学、大阪成蹊大学、崇城大学、秋田大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部他)／全国小中高教員／学芸員(石川県立美術館、福井県立美術館、名古屋市美術館、MOA美術館、石川県立歴史博物館)／文化財保護修復関係／公立工芸研究機関(九谷焼技術、輪島漆芸他)／造形作家／工芸作家(陶芸、染色、漆芸)／漫画家／イラストレーター／各種デザイナー／映像関係／繊維関係／印刷関係／報道関係／会社経営／流通、販売系

【受賞・発表】日展(大臣賞、会員賞、特選)／日春展(外務大臣賞、山口蓬春記念賞、日春賞他)／全関西美術展(全関西賞他)／臥龍桜日本画大賞展(大賞他)／青垣日本画大賞展(大賞他)／現代美術展(美術文化大賞他)／文化庁在外派遣研修員／新風舎えほんコンテスト(優秀賞)／Seed山種美術館日本画アワード特別賞／院展(奨励賞)／春の院展(奨励賞)／東山魁夷記念日経日本画大賞展(大賞他)／上野の森美術館大賞展(特別優秀賞)／三溪展(優秀賞)／京展(京都市長賞他)／菅橋彦大賞展(大賞、準大賞)／郷さくら大賞展(大賞、準大賞)



崔 由依子 「部屋」  
和紙、岩絵具、水干絵具、金属粉、胡粉 H 181.8 × W 227.3 cm



星野美月 「視線の先へ」  
和紙、岩絵具、墨 H 130 × W 194



石橋ひなの 「酔い小路」  
和紙、墨、岩絵具 H 130.3 × W 194 cm



熊倉愛理 「夢遊」  
和紙、墨、岩絵具、銀箔 H 194 × W 130.3cm



上月花織 「光の方へ」  
麻布、岩絵具、水干絵具、墨、銀箔 H 112 × W 194



森陽向 「対峙」  
和紙、岩絵具、墨、銀箔、胡粉、土絵具 H 130 × W 194cm



久松瑞果 「夢より醒めて」  
和紙、岩絵具、水干絵具、金属箔、胡粉、墨 H 170 × W 210 cm



大塚光子 「食材シリーズ-豚こま肉・玉ねぎ・白米・大豆」  
和紙、岩絵具、玉ねぎ染め液、大豆ゆで汁、醤油 各H 106 × W 106 cm



# 油画 Oil Painting

## 基礎力を備えた新時代の 芸術活動を担う人材の育成。

造形美術における基本的理念を理解させるとともに、高度な油彩画技法を指導し、各自の個性と感性を伸展させます。新時代の芸術分野での活動を可能にする美術教育をととして、将来を担う作家として相応しい人材の育成に努めます。

### 1年次

1年次はデッサン力を養い、油彩画の基本技術を習得するとともに、他分野の実習を通じて広く美術を学びます。

- 石膏デッサン
- 静物油彩
- パネル地塗り・テンペラ画
- グリザイユ
- アクリル画
- 人物着衣油彩



石膏デッサン



静物油彩



人物着衣油彩



グリザイユ

### 2年次

2年次は前学期では西洋絵画の知識・技術についての理解を進展させ、後学期では授業単元のテーマに沿った課題制作を通して表現の可能性を探ります。

- フレスコ画
- キャンバス制作
- カマイユ
- インスタレーション
- アニメーション
- 版画



フレスコ画



カマイユ



インスタレーション



アニメーション

### 3年次・4年次

3年次は制作のテーマや技術的な課題を明らかにするための表現技法研究と進級制作課題によって、表現の具体化について学びます。

**表現技法研究** 絵画、映像、立体・インスタレーション等の幅広い手段による表現を試行し、作品制作に繋がります。

**進級制作・展示** 進級制作では、個々の表現を具体化させ、作品を完成させます。4年次の卒業制作を視野におき学内ギャラリーにて展示を行います。



表現技法研究

4年次は学内外の専門的な視点による技術指導や作品講評を得ながら、卒業制作の完成に向けて高い表現力を身につけます。

**前期制作・展示** 前期は、卒業制作につながる実質的な制作に移る中で、制作上の技術的な課題を解決し、学内展示をとおして個々の制作に最適な作品サイズや制作期間、展示環境等について検討します。

**卒業制作** 後期は、集大成として卒業制作を行い金沢21世紀美術館に展示します。



前期制作・展示

#### 絵画表現コース (油彩、アクリル)

写実的な描写から抽象的な表現の探求まで、制作のテーマは多岐に渡ります。

#### 映像表現コース (アニメーション、ビデオ)

紙とペンで描いた動画や、人形、CG、実写等を駆使して制作に取り組みます。

#### ミクストメディア・空間表現コース

平面からインスタレーションを含む空間表現まで、様々な素材や技法を用いて取り組みます。



絵画表現コース



映像表現コース



ミクストメディア・空間表現コース

### 研修旅行

油画専攻では各年次に金沢近郊での一泊二日の校外写生授業、2年次の総まとめとしてパリ研修を行っています。普段とは異なる環境で自身が学んできたことを見つめ直す時間を過ごします。



パリ研修



校外写生授業

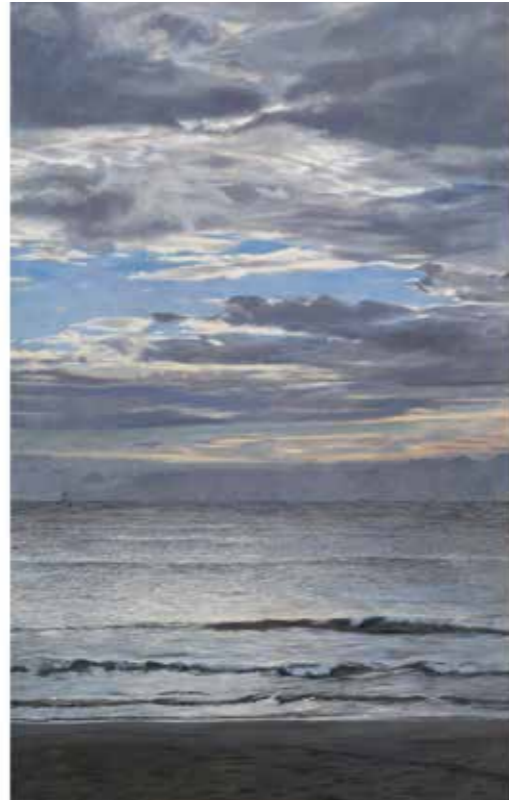
### 卒業後の進路・活躍

**【就職】** 画家、版画家、美術作家、絵本作家、漫画家、美術予備校講師、中学・高校教員、大学教員 (茨城大学、群馬大学、福井大学、宮崎大学、広島市立大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部)、㈱アークアスター、㈱アークシステムワークス、㈱イマジカデジタルスケープ、㈱IMAGICA GEEQ、㈱エス・デー、㈱エポック、大阪印刷㈱、㈱カブコン、㈱キネマントラス、㈱京都アニメーション、弁護士法人クオリアティワン、㈱小松マテリアル、㈱酒井化学工業、㈱Cygames、㈱佐藤塗装、㈱ジェーシースタッフ、㈱J-TECラボ、㈱四季 (制団四季)、㈱スタジオコロリド、㈱スタジオポノック、㈱田井屋、㈱チップチューン、㈱TBSアクト、東映アニメーション㈱、㈱トーガシ、㈱ニチイ学館、㈱藤、㈱任天堂、㈱バウハウス、㈱フェニクス、㈱フタバ、㈱ヨシダ印刷 **【進学】** 金沢美術工芸大学大学院修士課程・博士後期課程、東京藝術大学大学院

**【受賞・発表】** 第97回国展 (新人賞受賞、入選)、第41回上野の森美術館大賞展 (大賞受賞)、第7回青木繁記念大賞ビエンナーレ (奨励賞受賞)、第4回公募展「古川美術館Fアワード〜次世代につなぐ」Fアワード大賞 (大学部門)、第23回雪楽合フロンティア賞展 (入選)、第56回関西国展 (新人賞・賞候補)、第32回美浜美術展 (入選)、ヤングアーティスト公募展「いっ芽ふくら芽」 in Nagoya (優秀賞)、第38回FUKUIサムホール美術展 (入選)、2021年美の起原展 (準大賞)、シェル美術賞2021 (入選)、FACE展2022 (入選)、FACE展2025 (U30フロンティア賞)、第1回古川美術館Fアワード (スターキョットケーブルネットワーク賞)、第80回現代美術展 (次賞、北国賞、佳作賞、入選)、六花文庫企画公募展 (入選・入賞)



秋元来美 「路上」  
キャンバス、油彩 H 182 × W 227 cm



小野直也 「遠い海へ行く」  
半油性の地塗りを施したキャンバス、油彩 H 324 × W 194 cm



高橋南美 「くゆる」  
パネル、ケント紙、鉛筆 H 118.6 × W 162 cm



松田乃音 「Tender」  
帆布、毛糸、刺繍糸、ミシン糸、リボン、油彩 H 180 × W 160 × D 120 cm



堀 葉央里 「生命樹海園」  
パネル、油彩、アクリルガッシュ、銀箔 H 300 × W 162 cm



川尻聖来 「はじめまして、逃避行」  
キャンバス、角材、板、油彩 H 218 × W 176.3 × D 9 cm



長沖純 「FISH BONE」  
映像（粘土、針金、木材） 6分



高雄芳野 「容姿コンプ、ダブルゲンガーに出会う」  
漫画用原稿用紙、インク、CLIP STUDIO PAINT H 36.4 × W 25.7 cm 42ページ



# 彫刻 Sculpture



「自然」を見つめ「素材」と語り  
「私のかたち」を求めて。

現在、彫刻という表現の形態や解釈は多岐にわたり、限りなく可能性を広げています。彫刻専攻では、自然観察を通して形態の原理を学び追求することや、素材に触れその可能性を最大限に引き出すことを表現の原点として発展させていきます。自然を見つめ、素材と語り、時代を超えていく「私のかたち」を一緒に探しましょう。

## 1年次

1年次から2年次前期までは基本的な彫刻素材を通じた実習により、造形表現の基礎と各種の技法を体得します。

### 彫刻(一) I・II

自然観察 / 木彫実習 / 石彫実習 / 塑造実習

### 基礎科目

デザイン演習 / 映像メディア演習 / 絵画演習 / 美術解剖学・日本美術史I・II / 東洋美術史I・II / 西洋美術史I



自然観察



木彫実習



石彫実習



塑造実習

## 2年次

2年次後期は、造形理論を深化させながら自己表現の可能性を探ります。

### 彫刻(二) I・II

金属彫刻実習 / 複合メディア実習  
選択課題: 塑造(人体) / 塑造(クレークワーク) / 木彫 / 石彫 / 金属彫刻 / 複合メディア

### 基礎科目

工芸演習 / 絵画演習 / 美学 / 西洋美術史II / 色彩論 / 近代美術史

### 彫刻論 I



金属彫刻実習



複合メディア実習



選択課題



選択課題

## その他の活動



冨永敦也先生による作品講評



地域連携事業 触れてみる彫刻展 (石川県立盲学校)



金沢彫刻祭 2025 作品搬入・設置



研修旅行 (沖縄)

## 3年次・4年次

選択制による表現・素材別制作演習

3、4年次は素材や表現別に、またはそれらを横断しながら、個人のテーマ、内容を掘り下げ作品の完成を目指します。

### 彫刻(三) I・II

### 彫刻論 II

### 彫刻史特講

### 基礎科目

コンピュータグラフィックス

### 彫刻(四) I・II

卒業制作

## 塑造(人体・クレークワーク)



## 木彫



## 石彫



## 金属彫刻



## 複合メディア



## 卒業後の進路・活躍

【就職】彫刻家、造形作家、中学・高校・大学教員、青山学院大学、金沢星稜大学、京都教育大学、東海大学、大阪成蹊短期大学、明星大学、愛知県立旭丘高校美術科、金沢市民芸術村、礪山美術館、金沢21世紀美術館、金沢森林組合、㈱あんしんネット21、㈱イズム、井波彫刻・野村、㈱IMAGICA GEEQ、㈱ウイン・ディー、エステティックTBC、㈱金沢舞台、㈱カブコン、京都市立美術工芸高等学校、㈱共同通信社、㈱桑山、㈱ゲームフューク、劇団俳優座舞台美術、㈱コーエーテクモHD、㈱壽屋、コトブキワークス㈱、四季㈱、㈱シミスオク、㈱昭栄美術、上越クリスタル硝子㈱、スーパーファクトリー㈱、㈱杉田石材店、スズキ㈱、スタジオクロス、㈱セガ、関ヶ原石材㈱、㈱ダヴィンチ、㈱東京スタデオ、㈱道具、㈱名古屋ワールド、任天堂㈱、日産自動車㈱、㈱俄、㈱ピア21、㈱北陸園芸、北海道教育大学、㈱本田技術研究所、松屋電工㈱、丸井織物㈱、横浜美術大学、㈱レパルファイブ、㈱リノベーションプランニング、㈱瑠璃光

【他大学等進学先】愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、京都市立芸術大学、滋賀県信楽窯業技術養成研究所、多治見市陶磁器意匠研究所、多摩美術大学、筑波大学、東京藝術大学、富山ガラス造形研究所、広島市立大学、

【受賞・発表】神戸六甲ミーツ・アート等コンペ、全国各地開催の芸術祭、アーティストインレジデンスに入選・参加出品、各団体展、コンクール等入選・受賞



大津あくり 「I'm your father.」  
繊維強化プラスチック、鉄、エアキャップ、ビニールシート H180 × W90 × D50 cm



櫻井天紀 「Boy Wonder」  
セラミック、セメント H180 × W140 × D140 cm



南さくら 「合掌」  
樺 H170 × W70 × D80 cm



持田航太郎 「揺籠の鳥」  
桜、樺 H237 × W145 × D150 cm



陶山咲楽 「fish story」  
発泡スチロール、石粉粘土、透明樹脂、オーガンジー、アクリル塗料  
H150 × W150 × D320 cm



松末陽大 「Big Head」  
鉄、モニター、カメラ、ビデオミキサー、モーター H280 × W150 × D150 cm



川村拓路 「実りの周囲」  
石灰岩 H50 × W40 × D40cm、H42 × W230 × D42 cm



岸桃子 「太陽を指差す」  
モニター、コンピューター H277 × W280 × D10 cm



# 芸術学

Study of Contemporary Art Practice and Visual Culture



現代における芸術の  
実践と視覚文化の研究により、  
芸術の意義を探求し社会に貢献する。

美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、作品制作やキュレーションの実践を伴う現代美術研究を通して、芸術が今日の社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成します。

## 1年次

芸術学専攻で行う調査や制作などの概要を理解し、視覚文化研究・現代美術研究に必要なスタディスキル及び制作表現の基礎力を身につけます。

芸術学演習(一)「基礎」  
ユネスコ創造都市(クラフト&フォークアート分野)に認定されている金沢には、江戸時代以来の様々な文化が今も息づいています。金沢の文化に関するフィールドワークを行い、これをケーススタディとして芸術学概論を講義した後、視覚文化研究・現代美術研究の導入としての基礎的な演習を、各教員がオムニバス形式で行います。

- |           |           |        |
|-----------|-----------|--------|
| 芸術学演習(一)  |           |        |
| 日本美術史I・II | 東洋美術史I・II | 西洋美術史I |
| 彫刻演習      | 工芸演習      | デザイン   |
| 映像メディア    |           |        |



工房見学(毎田染画工芸)



演習(一) グループワーク

## 2年次

視覚文化研究・現代美術研究のスタディスキルの展開力、企画実践を含む制作表現力を身につけ、専門研究を具体的にイメージしつつ、その方法を試行します。

芸術学演習(二)「展開」  
アーティスト・イン・レジデンス(研修旅行)と連動した作品制作と展示企画、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究の文献の輪読と議論、現代美術のキュレーションにおける実地調査など、1年次の芸術学演習で修得した基礎力の展開として、視覚文化研究・現代美術研究に関する発展的な演習を、各教員がオムニバス形式で行います。

- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 芸術学演習(二) |         |        |
| 西洋美術史II  | 工芸史I・II | 美学     |
| 近代美術史    | 絵画演習    | 美術表現演習 |
| 工芸       | 版画      |        |



演習(二)制作「死なないための術」和田夢花(撮影/岡田宇左)



研修冊子表紙

## 3年次

視覚文化研究・現代美術研究のスタディスキルの専門性、制作表現力を高めるとともに、卒業研究の方向性を定め、その目的と意義を認識します。

芸術学演習(三)「発展」  
1・2年次の芸術学演習で修得した基礎力・展開力に基づく専門研究について、各教員がゼミを開講し、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、現代美術における多形式での制作・理論、キュレーションの研究とその実践に関する演習を行います。卒業研究を念頭にゼミを選択し、調査・研究、制作・展示を通して研究テーマを探求します。

- |                                  |               |        |
|----------------------------------|---------------|--------|
| 芸術学演習(三)                         | 芸術論研究         | 美術工芸特論 |
| 日本絵画史特講                          | 西洋絵画史特講       | 彫刻史特講  |
| 専門語学(英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、中国語、古文) |               |        |
| 絵画                               | コンピュータグラフィックス |        |



演習(三)ゼミごとの指導風景例

## 4年次

視覚文化研究・現代美術研究における専門研究を行い、各自のテーマに基づく論文や作品制作等を完成させ、その成果を発表します。

芸術学演習(四)「集大成」  
3年次に行った専門研究を前提に研究領域やテーマを決定し、美学・美術史・工芸論を中心とする視覚文化研究、および作品の制作やキュレーションの実践を伴う現代美術研究における卒業研究(論文/制作)を行い、主指導教員の個別指導に基づく調査・研究、制作・展示、発表におけるプレゼンテーションと質疑応答を通して完成に導きます。

- |  |      |
|--|------|
| 芸術学演習(四)   | 卒業研究 |
| 制作実技領域は12月に学内展示発表を行います。また、2月には全領域が研究を可視化し、卒業制作展での展示を行い、その機会にあわせて金沢21世紀美術館レクチャーホールで口頭での研究発表を行います。(一般公開) |      |



演習(四)卒業研究発表風景

### 学外研修

研修旅行:アーティスト・イン・レジデンス(大分県別府市)  
2年次の美術表現演習と芸術学演習(二)で行う作品制作および学内での展示企画を、学外の施設における滞在制作展示として発表し、報告書を作成することにより、現代美術領域における現場力を養います。

### 卒業後の進路・活躍

【就職】北海道立近代美術館、北海道立旭川美術館、モエレ沼公園、弘前れんが倉庫美術館、東北福祉大学芦沢銈介美術工芸館、秋田市立千秋美術館、福島県立博物館、茨城県近代美術館、東京国立博物館、東京ステーションギャラリー、草間彌生美術館、横浜美術館、横須賀美術館、ポーラ美術館、黄金崎クリスタルパーク、愛知県陶磁美術館、名古屋市美術館、古川美術館、豊田市美術館、国立工芸館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、富山県美術館、富山県水墨美術館、富山市ガラス美術館、黒部市美術館、セレネ美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、福井県立美術館、金津創作の森美術館、敦賀市立博物館、二条城、大阪中之島美術館、国立国際美術館、伊丹市立美術館、和歌山県立近代美術館、鳥取県立美術館、福岡アジア美術館、立花家史料館、九州国立博物館、東映アニメーション(株)、劇団四季、福井大学、金沢大学、公立および私立中高等学校美術教員など 【他大学進学先】大学院:東北大学、東京大学、筑波大学、千葉大学、神戸大学、九州大学、東京藝術大学、京都市立芸術大学、ロンドン大学など

美学・美術史・工芸論を中心とする  
視覚文化研究

絵画や彫刻といった「美術」はもとより、その一部を構成しつつ周縁に位置する「工芸」や「デザイン」、さらには美術の下位に区分されてきたヴィジュアルな「大衆文化」を対象として、学術的かつ領域横断的な研究に取り組みます。

制作やキュレーションの実践を伴う  
現代美術研究

絵画、彫刻、工芸、デザイン、版画、映像メディア、CG、美術表現といった幅広い実技を学び、現代の美術市場を意識した作品制作や作家とともに展覧会を作り上げる現代美術のキュレーションなどの実践的な研究に取り組みます。



山本千聖  
「アーツ・アンド・クラフツ運動における「ギルド」の系譜とウィリアム・モリス」



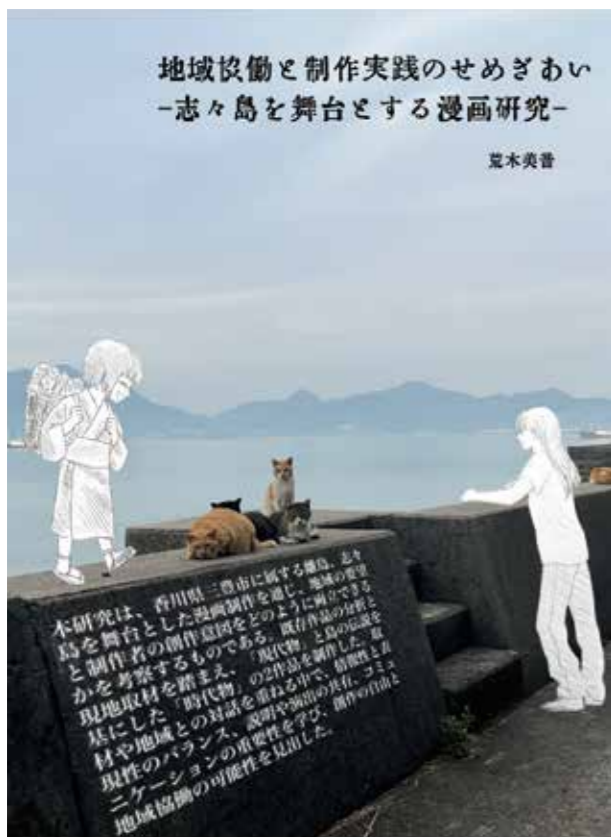
谷口和香奈  
「白山をめぐる文化の真正性と三馬場の位相」



山辺彩音  
「カサナリ」 アクリル板、水性スプレー(黒)、プライマー、テグス



岡田宇左  
「Dream Tarot -Trionfi-」 ジークレープリント、Hanemuhle Photo Rag、額装



荒木美音  
「地域協働と政策実践のせめぎあい -志々島を舞台とする漫画研究-」



森岡美遥  
「AIとの協働 -AIアートにおける人間と機械の関係性-」



和田夢花  
「関守石」 リンゴ、麻紐

# ホリスティックデザイン

Holistic Design



コミュニケーションから場のデザインまで、  
様々な専門領域とその関係を学ぶ。

広告、パッケージ、本、映像、ゲーム、プロダクト、ファッション、ブランディング、空間、  
景観、建築。11のデザインを通してデザインの世界を広く捉え、そこから自分自身の  
得意な領域を見つけ探求するカリキュラムを組んでいます。様々なデザインのスキルや  
視点、それらの関係性を学び、変化する社会、多様性が重視される現代にふさわしい  
デザイナーの育成を目指します。



## 1年次

デザインの基礎を学ぶ  
自分自身のデザイン力を耕す。

描出、色彩、素材、形態、情報、発想など  
デザインの基礎を総合的に学びます。

- ホリスティックデザイン演習（一）
- 描出演習
  - 色彩演習
  - 素材演習
  - 形態演習
  - 情報演習
  - 発想演習



モノグラム



フラワーベース



浮遊と空間



ゲーム課題

## 2年次

視野を広げ、想像力を育む  
自分自身のデザインの世界を広げる。

選択式の演習が加わり、  
様々なデザイン領域の基礎を実践的に学びます。

- ホリスティックデザイン演習（二）
- デザインプロセス演習
  - デザイン論



サービスデザイン



パッケージデザイン「日本酒」



UI/UX



アイデンティティ

## 3年次

専門的スキルを横断的に学ぶ  
自分自身の得意分野を形成する。

前期は、ゼミ選択のため、自身の専門を見極める選択式の演習、  
後期は、ゼミに分かれ、演習・研究を深めます。

- ホリスティックデザイン演習（三）
- ホリスティックデザイン特論
  - デザインマーケティング



坂野ゼミ「インフォグラフィックス」



高田ゼミ「Share Beauty」



榊島ゼミ「ゲームプランニング」



西本ゼミ「〇〇の家」

## 4年次

課題を抽出し、社会へ発信  
自分自身のテーマを確立する。

後輩への指導も経験した後は、  
ゼミごとに卒業制作に取り組みます。

- ホリスティックデザイン演習（四）



スタートデザイン



研究活動



卒業制作展



卒業制作展

## 学外活動（産学連携事業）



pigeon グラフィックデザイン



湖池屋プライドポテトJAPAN  
金沢の甘えび パッケージデザイン



無印良品・九州大学連携プロジェクト  
つながるモノづくり市



金沢村田製作所 イルミネーション

## 卒業後の進路（現視覚デザイン専攻・現環境デザイン専攻）

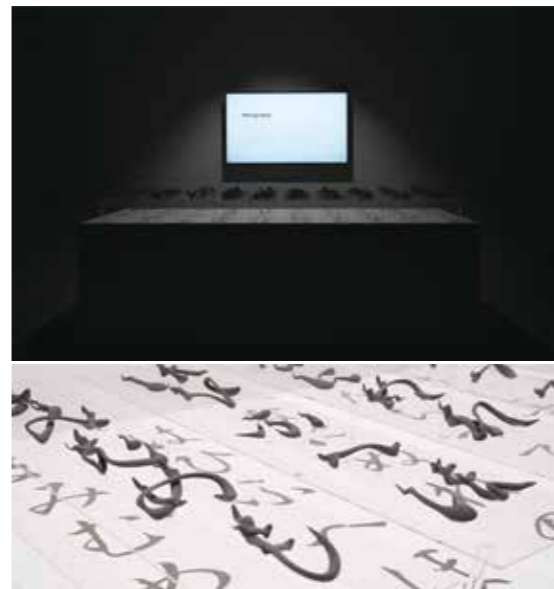
【就職】 イケア・ジャパン(株)、(株)イトーキ、(株)イリヤ、王子製紙(株)、(株)オカムラ、(株)オリバー、海法主建築設計事務所、花王(株)、(株)加納デザイン事務所、キリンパレッジ(株)、  
(株)クボタ、ケイミュー(株)、(株)湖池屋、(株)コーエーテックモゲームス、ココヨ(株)、(株)コトブキ、コナミ(株)、(株)Cygames、(株)サイバーエージェント、(株)サンリオ、(株)ジェー・シー・スパーク、  
(株)GK設計、ジーク(株)、シャープ(株)、スズキ(株)、(株)snowpeak、(株)スペース、(株)セガ、積水樹脂(株)、(株)船場、ソースネクスト(株)、ソニー(株)、(株)大広、(株)DMM.com、(株)TBSテ  
レビ、(株)タカラトミー、(株)たきコーポレーション、(株)丹青社、TOTO(株)、(株)DNPコミュニケーションデザイン、(株)テレビ朝日、デンソーテクノ(株)、(株)電通、(株)戸田芳樹風景計画、  
TOPPANホールディングス(株)、トヨタ自動車(株)、(株)ドワンゴ、(株)日本デザインセンター、日本放送協会（NHK）、任天堂(株)、NEXCO西日本グループ、(株)乃村工藝社、  
(株)博展、(株)博報堂、(株)阪急デザインシステムズ、(株)バンダイナムコスタジオ、パナソニック(株)、(株)日立製作所、(株)フジテレビジョン、本田技研工業(株)、三菱電機(株)、(株)  
ムラヤマ、(株)メルカリ、ヤフー(株)、(株)LIXIL、(株)リュウズ、YKKAP(株)、1-UPスタジオ(株)



馬杉帆々香 「うつむきポップス」  
ミュージックビデオ



肥後環希 「oddot」  
愛嬌が育む人とモノの豊かな関係性の研究



三隅玲那 「Movigraphy」  
書の動きの美しさを三次元で可視化する試み

# 紅月

ひらがな 83文字  
カタカナ 86文字  
漢字 2393文字  
数字 10文字  
アルファベット 52文字

永本日私国明語新妹我抱独小人自学成長  
母考灯限発挙案愛緒書聞禱響麗麗対約千  
情遠あいうえおかがきくぐげこぞしず  
ぜそ危危つてでとなにぬねのはびび  
べばまみむめもやゆよらりるれろをん  
っゃゅょアイウエオカガクグケコサシ  
スズゼソタダチツテナニヌネノハバ  
ピアベホマミムメモヤヨラリレロワ  
12345676890 あ永A  
ABCDEFGHIJabcdefgh

山下尋 「紅月(あかつき)」  
椎名林檎のためのオリジナルフォント



北恭輔 「サウナマン」  
オリジナル特撮ヒーロー



和田歩乃葉 「komorie」  
がんと向き合う人が自分を取り戻せる居場所



藤井華乃 「HUGM」  
安心感を生む居場所の研究



渡邊咲希 「Dance Stick」  
音に乗る感覚を育む木製知育おもちゃの研究

# インダストリアルデザイン

Industrial Design



「手で考え、心でつくる」を理念に、  
知性と感性豊かなプロのデザイナーを目指す。

社会的ニーズに応える広い視野と解決力を持ち、コミュニケーション能力が高く、時代に  
敏感な創造性と造形力あふれるデザイナーを養成します。日用品や家具、電気製品、情  
報機器、公共用品、自動車などのデザインを扱います。様々な素材加工技術や思考プロ  
セスを体験的に学び、理論を構築し、リアリティを持って社会の要請に応えうる、人間対  
する理解とチャレンジ精神に満ちたデザイナー・研究者・教育者の育成を目指しています。

## 1年次

デザインの基礎を学ぶ。

基礎造形、表現、技術を学びます。  
デザイン科2専攻共通の課題もあります。工房教育として、金属、木材、  
プラスチック等の素材加工技術、塗装などを学びます。

インダストリアルデザイン演習(一)  
デザイン基礎演習 材料学演習  
アイデアデベロップメント



インダストリアルデザイン演習(一)  
基礎造形



デザイン基礎(形態)



インダストリアルデザイン演習(一)  
フォトショップスケッチ



材料学演習(複合素材)

## 2年次

インダストリアルデザインの要素を学ぶ。

専門的なデザインスケッチやモデル制作の技法を学びます。  
製品の機能、素材、構造、詳細から造形を考えます。

インダストリアルデザイン演習(二)  
コンピュータ演習I デザインプロセス演習  
インターフェースデザイン



デザインプロセス演習  
サービスデザイン



インダストリアルデザイン演習(二)  
コンセプトとカタチ(ドライヤー)



インダストリアルデザイン演習(二)  
機能(GUI)



インダストリアルデザイン演習(二)  
素材と構造と接合法(照明器具)

## 3年次

インダストリアルデザインのプロセスを通して手法を学ぶ。

製品の調査、企画、デザイン、試作まで一貫したインダストリアルデザインのプロセス  
を通して手法を学びます。産学連携プロジェクトや、企業インターンシップへの参加  
など、より社会における実践に近い形でプロのデザイナーの仕事を経験します。

インダストリアルデザイン演習(三)  
コンピュータ演習II 人間工学 デザイン工学



インダストリアルデザイン演習(三)  
家電のデザイン



インダストリアルデザイン演習(三)  
椅子のデザイン



インダストリアルデザイン演習(三)  
モビリティのデザイン



インダストリアルデザイン演習(三)  
サービスや情報機器のデザイン

## 4年次

インダストリアルデザインの応用として視野を広げ、  
必要なテーマを自身で発掘し解決に導く。

インクルーシブデザイン演習、応用演習のまとめとして  
卒業制作に取り組みます。

インダストリアルデザイン演習(四)  
卒業制作  
知的財産権 デザインマーケティング



インダストリアルデザイン演習(四)  
スタートデザイン(仮設住宅で役立つプロダクト)



インダストリアルデザイン演習(四)  
公共用品



インダストリアルデザイン演習(四)  
産学学習



卒業制作(金沢21世紀美術館)

## 海外研修旅行 / 社会連携事業



海外研修旅行  
(スリランカ)



国際交流  
(デンマーク王立美術院)



金沢マラソン完走メダルデザイン  
(金沢市)



メガネ部活動

## 卒業後の進路

【就職】アイシン精機(株)、愛知(株)、アイリスオーヤマ(株)、アクセンチュア(株)、(株)アシックス、いすゞ自動車(株)、井関農機(株)、(株)イーキ、(株)INAX、NEC(株)、(株)オカムラ、  
オリンパス(株)、貝印(株)、カシオ計算機(株)、(株)カネカ、河津(株)、キヤノン(株)、(株)クボタ、(株)ケイテック、コクヨ(株)、サンデン(株)、ソースネクスト(株)、(株)GK京都、(株)GKダイナミッ  
クス、(株)JVCケンウッド、シチズン時計(株)、(株)島津製作所、(株)シマノ、シャープ(株)、伸晃化学(株)、スズキ(株)、(株)SUBARU、セイコーインスツル(株)、セイコーウオッチ(株)、  
象印マホービン(株)、ソニー(株)、ダイキン工業(株)、大建工業(株)、ダイハツ工業(株)、(株)タニタ、(株)デンソー、(株)デプロインターナショナル・アソシエイツ、(株)東芝、トヨタ自動車(株)、  
トヨタ車体(株)、(株)豊田自動織機、ナトコ(株)、(株)ニコン、日産自動車(株)、(株)日産テクノ、任天堂(株)、パイオニア(株)、パナソニック(株)、(株)パンダダイナムコスタジオ、(株)日立製作所、  
(株)PFU、富士フイルム(株)、ブラザー工業(株)、(株)ホンダアクセス、(株)本田技術研究所、マツダ(株)、(株)ミクシィ、ミズノ(株)、三菱電機(株)、(株)柳工業デザイン研究会、ヤマハ(株)、  
ヤマハ発動機(株)、(株)LIXIL、(株)リコー、(株)リッチェル



協力機関 | 富士リビング工業株式会社・イオンリテール株式会社・イオンモール株式会社・金沢市役所森林再生課・株式会社TEORI・内川地区 竹加工生産組合・石川県工業試験場・株式会社中興・株式会社宮野善吉商店・株式会社オリエタル

坂東深汰朗 「bamby」  
放置竹林に着目したCLBを用いたショッピングカートとその循環の研究



山西優心 「地域とつながるデザイン学生」  
卒制で行った7つのプロジェクト



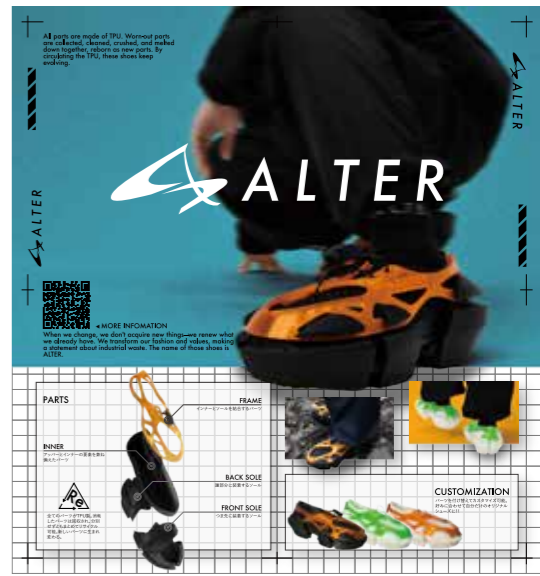
西田恵美里 「Lapo」  
認知症介護施設に向けたレクリエーションサポートキット



木村環希 「Tola」  
α世代のための学習環境をサポートするコミュニケーションファニチャー



石垣為智 「しまもび」  
沖縄・那覇都市圏の新しい交通機関



戸塚昂 「ALTER」  
パーツを交換することで生涯履ける靴



小島静月 「totte」  
ヘルメット一体型防災バッグ



岡崎雄 「TSUZUMI」  
用水の水力で発電する照明ユニット



西山誌織 「Thincle」  
子どもの想像力と問題発見力を高める仕組み



## 新しい工芸の世界を切り拓く 人材の育成を目指します。

工芸科では大学4年間の前半で各種伝統技法や素材について学び、特に工芸に対する知識と技術の習得を目指します。後半では「表現力と創造性」をキーワードとし、陶磁、漆・木工、金工、染織の各コースの特色をいかながら相互に連携を保ち、専門課程を軸とした研究に取り組みます。本学士課程をとおして、世界に通ずる工芸作家やデザイナー、研究者、指導者を育成することを目指します。

### 1年次

「基礎と体験」ととらえ、工芸のあり方を模索します。

工芸演習(一)	色彩演習	工芸概論 I
材料学演習(石膏)	形態演習	伝統文化論
コンピュータ演習 I	描出演習	
デザインプロセス	写真演習	

1年次は工芸の基礎を習得するとともに、陶磁、漆・木工、金工、染織の各コースを体験し広く表現力を養います。

#### 卒業後の進路・活躍

【就職】アッシュ・ペー・フランス(株)、(株)アックス、石川県工業試験場、石川県輪島漆芸美術館、(株)INAX、宇仁繊維(株)、AMD(株)、大阪産業大学、鹿児島大学、上出長右衛門窯、グンゼ(株)、劇団四季、(株)小西美術工藝社、(株)サンゲツ、セーレン(株)、スズキ(株)、セイコーインスツル(株)、ソニー PCL(株)、武内プレス工業(株)、(株)TASAKI、TBカワシマ(株)、東リ(株)、(株)とみひろ、富山県繊維試験場、西川産業(株)、ニッコー(株)、NIWAKA、白山陶器(株)、(株)バンダイ、飛騨産業(株)、独立行政法人造幣局、本田技研工業(株)、(株)SUBARU、(株)ミキモト装身具、(株)山崎麻織物工房、ヤマハ発動機(株)、(株)ヨーガンレール、LosAngelesCountyMuseumofArt、(株)ワコール、1-UPスタジオ

【工房・研修所】石川県立九谷焼技術研修所、石川県立山中漆産産業技術センター、金沢卯辰山工芸工房、高岡市デザイン・工芸センター、多治見市陶磁器意匠研究所、福井県工業技術センター

【受賞・発表】アートアワード・キョー丸の内2012ジュウエムラ賞、第50回日本クラフト展日本クラフト大賞・経済産業大臣賞、第45回伝統工芸日本金工展新人賞、第45期国際瀧富士美術賞、新潟雪楽舎美術館「KOGEI2024」(育成大賞 育成賞)、Forbes JAPAN 30 UNDER30(MUFG特別賞)、第6回金沢・世界工芸コンペティション(次世代賞)、KOGEI ARTIST LEAGUE 2024(ファイナリスト)、第14回現代手織物クラブ公募展(グランプリ)・長野県知事賞、国際漆展2023銀賞、第40回日本伝統漆芸展入選、第64回石川の伝統工芸展(新人賞)

### 2年次

「素材と技術」ととらえ、専門分野の知識と技術を養います。

工芸演習(二)	地域工芸演習 I (社会研究)
古美術演習	デザイン演習 I
コンピュータ演習 II	現代工芸論 I

#### 陶磁コース

2年生では陶磁の基礎と表現媒体としての土の可能性を学びます。3年生では造形表現とデザイン展開を実践的に学びます。九谷焼の土壌を踏まえた技術習得に加え陶磁器による新たなモノづくりを模索し続ける、時代を見据えた次世代の表現を切り拓く人を育成します。

#### 漆・木工コース

2年生で漆芸の基礎を学び、3年生では素材や技法の展開と応用、さらに4年生では表現を目的とし、現代における漆・木工芸の可能性を探ります。また伝統や現代あるいは地域や文化など広い視野で時代を捉え、将来広く活躍し得る人材の育成を目指します。

#### 金工コース

現代の生活や社会の環境、情勢など世の中の動きを見据えながら、金属の特性を活かした鍍金、銀金、彫金技法を習得し、豊かな表現力を養います。マンツーマン教育を通じ、次世代を担う人材の育成を目指します。

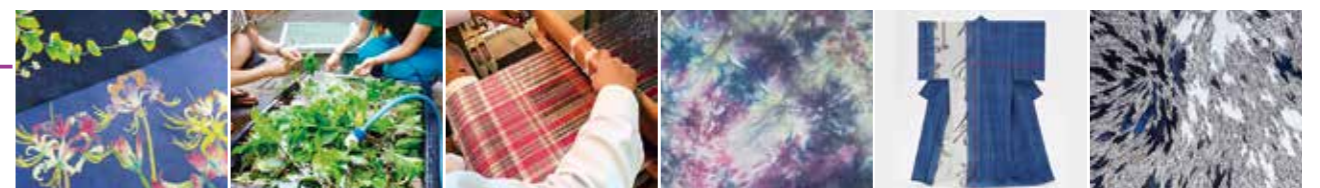
#### 染織コース

当地は加賀友禅の産地であり、また合成繊維の製造・加工に関して、質・量ともにトップレベルの産地です。本コースでは伝統から先端にいたる幅広い技術の習得、造形的表現やデザイン理論に軸足を置きながら、マンツーマン教育を通して新たな時代のモノづくりを目指します。

### 3年次

「自己発見」の期間として、表現力と創造力を深めます。

工芸演習(三)	地域工芸演習 II (産地研修)
複合素材演習	デザイン演習 II
	現代工芸論 II





宮城葵色 「NEW ORIGIN -Repetition as Genesis-」  
漆、麻、との粉 H130 × W130 × D33 cm



黄世昌 「夜・潮-(転相)」  
金消粉、漆、漆板 H110 × W100 cm



桐山珠美 「雪の果て」  
透光性粘土、ガラス H21 × W66 × D36 cm



北田杏実花 「未だ、誰もいない体【3】」  
磁器パーツ、繊維 H79.5 × W88.5 × D29.5 cm



飯嶋さくら 「銘仙織機物 朝華」  
絹糸、酸性染料 H180 × W160 cm



矢賀紀蓉佳 「翳りを帯びて、揺れながら涼として」  
綿ブロード、反応染料、木材パネル、グリッター粉 H300 × W180 × D4 cm



松澤慶 「永遠/一瞬」  
銅、真鍮、洋白、銀/銀メッキ、硫化着色 H50 × W35 × D35 cm



石原美智 「まるとかたち・とぎすかたち・ただよかたち」  
高錫青銅 H25 × W45 × D45 cm  
H20 × W25 × D25 cm  
H20 × W30 × D15 cm

# 一般教育等

Liberal Arts



より自由に、より創造的であるために。

ギリシア神話から人新世まで。文化、歴史、科学を学ぶ。心と身体の動きに気を配る。社会的な課題に想いを馳せる。リベラル・アーツが育む知性と感性はいつの時代も本物のアーティストの証明です。少人数・実践重視の外国語教育(英仏独伊中)は異文化理解と海外留学へのパスポート。教職課程と学芸員課程は卒業後の進路の幅を広げています。

## Curriculum

〈一般教育等〉	〈教職科目〉	〈博物館科目〉
哲学	教育の本質と目的	博物館概論
文学	教育心理学	博物館資料論
心理学	教職論	博物館経営論
社会学	教育課程論	博物館展示論
歴史	教育方法論・特別活動の指導法	博物館資料保存論
日本国憲法	教育とICT活用	博物館情報・メディア論
文化人類学	特別支援教育概論	博物館教育論
考古学	道徳教育の指導法	博物館実習
生涯学習概論	教育相談の基礎と方法	生涯学習概論
人間と文化	総合的な学習の時間の指導法	
フレッシュマンセミナー		
博物館概論	英語	美術教育法
現代ジェンダー論	フランス語	工芸教育法
金沢の文化行政	ドイツ語	教育制度と社会
キャリアデザイン	イタリア語	生徒指導・進路指導の理論と方法
情報処理	中国語	教育実習事前事後指導
スポーツ科学	体育実技	教育実習
物質の科学		教職実践演習
材料の科学		
エコロジー		
科学技術史		
数理科学		

# 基礎科目

Basic Subjects



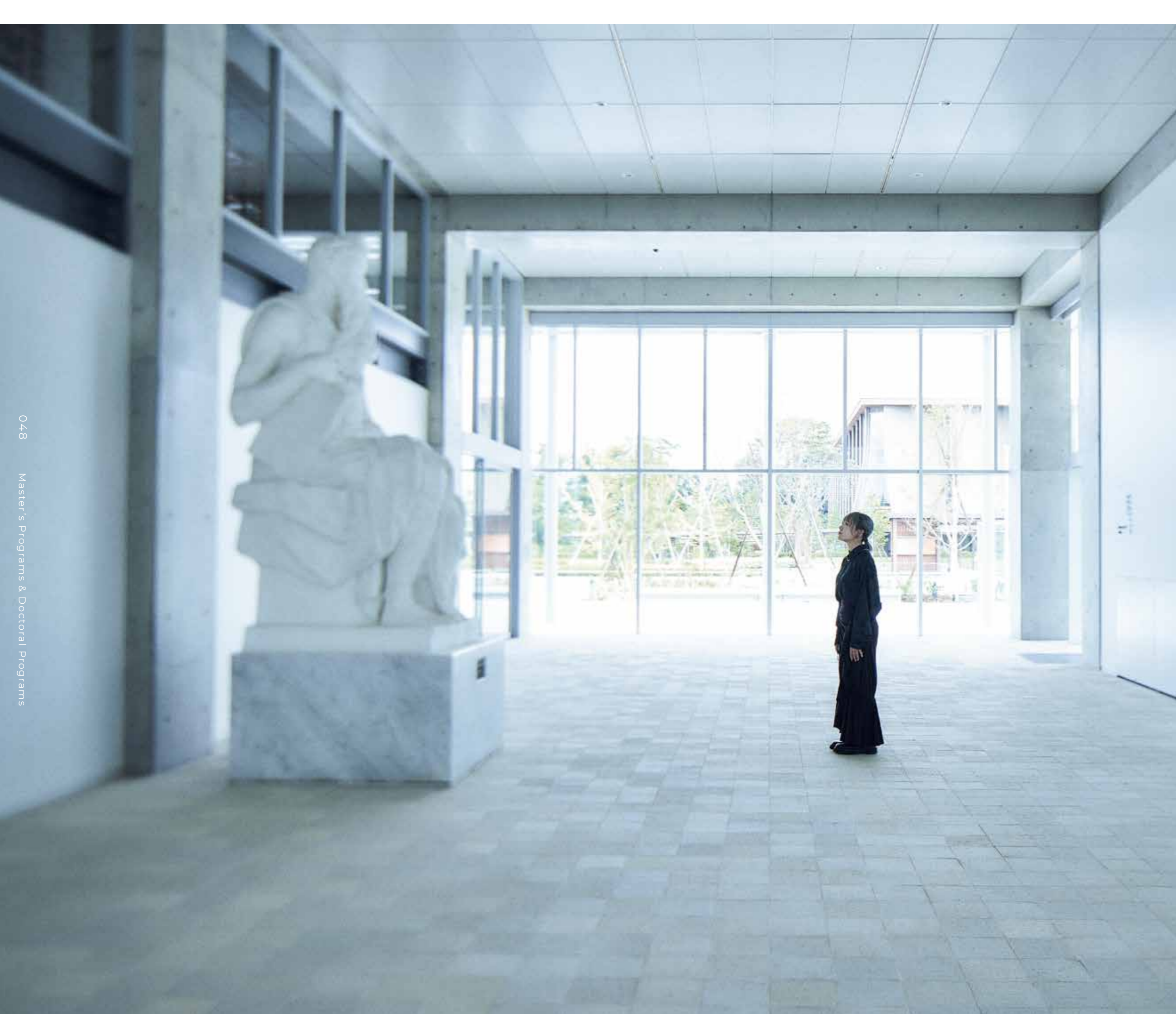
専攻の枠を超えて理論と実技を学ぶ。そこにはいつも新たな発見がある。

表現の手法が拡張し、融合していく時代。金沢美術工芸大学は、そのはじまりから専攻の枠を超えて学ぶことを大切にしてきました。すべての表現の根底にある本質を学び、創造力の基礎を培います。

## Curriculum

美学	デザイン心理学	デザイン I (理屈)	工芸技法 (紙)
日本美術史 I	建築論	デザイン I (缶バッチデザイン)	現代美術演習
日本美術史 II	専門英語演習	デザイン II (Tea-bag Re design)	造形表現工房 I (メディア/映画表現の世界)
東洋美術史 I	専門語学 (英仏独伊中、古文)	デザイン II (ステーションナリー)	造形表現工房 I (メディア/映像編集)
東洋美術史 II	芸術と批評	デザイン II (椅子)	造形表現工房 II (平面/ドローイング (人体))
西洋美術史 I	保存修復概論	デザイン II (日用品)	造形表現工房 III (立体/彫刻表現)
西洋美術史 II	絵画 I (素描・静物)	デザイン III (ディスプレイ)	造形表現工房 IV (素材・技術/素材技術研究)
近代美術史	絵画 I (素描・人体)	デザイン III (ランドスケープ)	造形表現工房 IV (素材・技術/現代美術 ミクストメディア)
工芸史 I	絵画 II (版画)	デザイン III (建築)	造形表現工房 V (社会環境/アートプロジェクト)
工芸史 II	絵画 III (日本画)	工芸 I (金工)	造形表現工房 V (社会環境/景観形成・造園演習)
彫刻 I	絵画 III (油絵)	工芸 II (陶磁)	造形表現工房 V (社会環境/社会教育・美術教育)
彫刻 II	絵画 III (フレスコ)	工芸 II (ガラス)	造形表現工房 VI (語学・理論/美術教育ゼミナール)
絵画 I	彫刻 I (鍛造)	工芸 III (木工)	造形表現工房 VI (語学・理論/芸術と言語表現)
絵画 II	彫刻 II (彫造)	工芸 III (漆・木工)	造形表現工房 VI (語学・理論/工芸作品展示と言語表現)
美術解剖学	彫刻 III (ARプランニング)	工芸 IV (染織)	
図学	デザイン I (グラフィックデザイン基礎)	映像メディア	
色彩論	デザイン I (ゲームデザイン)	コンピュータグラフィックス	

## 一般教育等 / 基礎科目



## 大学院

修士課程  
博士後期課程



## 専門性を高め学問に通じる道を拓く。

実践のなかに理論を見出し、理論から実技へ発展させます。

相互に学びを高めることで、作品と理論を深化させていきます。

国際的に開かれた環境で切磋琢磨を重ねる、創造と研究の場です。



### 絵画専攻

日本画コース・油画コース・映像コースの3つの研究分野があります。「日本画制作」、「油画制作」、「映像制作」等の実技演習を中心にすえ、一方で、「絵画特論」、「映像特論」をはじめとして、「美術史特講（日本、東洋、西洋）」や「美学・芸術学特講」など理論面でも充実しています。絵画・映像の理論および技術をより専門的に探究するとともに、今日の表現にも目を向け、自由な発想のもと多様化する美術の展開に対応しています。

### 彫刻専攻

彫刻コースでは、塑造、木彫、石彫、金属彫刻を、環境彫刻コースでは、インスタレーション、コンセプト的な創造、ジャンルを横断した造形に対応する制作を行っています。理論科目では、都市空間、公共空間、自然空間の中での立体造形について考察し、多様化する現代美術の展開についても思考を重ねています。伝統的表現技法を追求しつつ、自由な発想のもと創造の世界を広げ個性的な作品を生み出すことを目指しています。

### 芸術学専攻

美学・美術史・工芸論を中心とする「視覚文化研究」、作品制作やキュレーション等の実践を伴う「現代美術研究」の二つの分野を置き、専門研究を行っています。各専門の演習に加え、総合的・学際的関心を育成するための芸術学特論や美術系大学の特性を活かした美術技法研究なども設けています。芸術が社会に果たす役割を考え、自ら問題を設定し、口頭発表や展覧会等による研究発表を重ねながら学術的で高度なレベルの論文執筆や作品制作に取り組むことを課し、理論と実践を兼ね備えた研究者・制作者の育成を目指しています。修了生は、学芸員をはじめとして幅広く芸術の分野で活躍しています。

### 工芸専攻

陶磁、漆・木工、金工、染織の4コースがあり、金工と染織はさらに2分野に分かれ、6専門分野で構成されています。恵まれた環境のもと、技術的、造形的に、高度な研究ができるよう配慮されています。実技・演習に重点を置きつつ、理論的造形思考を高めるために「工芸特論」、「地域文化論」をはじめとして10理論科目が開講されています。常に伝統と現代を追求すること、素材に対する新たな挑戦が期待されています。

### デザイン専攻

2026年度からはホリスティックデザイン、インダストリアルデザインの2つのコースとなり、現代社会とデザインの様々なテーマに即した実践的な演習が設けられています。また研究の深化には造形の基礎と展開及び方法論が不可欠であるという認識のもと、理論科目も用意されています。博士後期課程への進学の道が開かれています。修了後は、研究者、教育者、ディレクター、デザイナーとして活躍しています。



能條玲衣 「野のこ」



古桜かのこ 「治してあげる」



佐藤蓮太 「bowl 4 21G」



大谷周 「古事記星図」星座を用いた見立ての研究



広く映像文化を学び、映像表現を探求します

アニメーション、映画、ゲーム、メディアアートの専門家による講義やフィルムメディアとデジタルメディアの撮影・編集を学ぶ演習、セット撮影・録音・カラーグレーディング・上映の各機能が整うコース教室及びメディアセンター内スタジオ群を利用した作品制作を通じて、映像表現について総合的に研究します。

### 主な演習のご紹介

\*本ページで紹介する写真には本学美術工芸学部 油画専攻 映像表現コースが参加した授業風景が含まれています。



ビデオ撮影演習



映像制作指導(非常勤講師:萩原朔美)



映像制作指導(非常勤講師:細田 守)



シアター演習(映写室)



映像制作指導(客員教授:りんたろう)



ビデオアート実習(非常勤講師:仲本拓史)



録音・MA演習(非常勤講師:口出洋徳)



ビデオ撮影演習(非常勤講師:前川裕介)



映像制作指導(映像展示スペース)



アニメーション史(非常勤講師:氷川竜介)



シアター演習(シアター)



映像編集(非常勤講師:大川景子)



映像制作指導(客員教授:黒坂圭太)



カラー調整演習(カラー調整スタジオ)



ゲーム制作論(非常勤講師:安原広和)



映像教育論(非常勤講師:土肥悦子)



メディアインストレーション(非常勤講師:森岡東洋志)



ライブコーディング(非常勤講師:田所 淳)

各分野の専門家が客員教授・非常勤講師として講義・演習・実習などを担当し、より実践的な指導を行います。

〈客員教授 | 映像コース〉  
黒坂圭太 (アニメーション作家)  
〈客員教授 | 油画専攻〉  
りんたろう (アニメーション監督)  
奥田瑛二 (俳優・映画監督)

〈非常勤講師〉

石田尚志 (多摩美術大学)  
大川景子 (映画監督)  
菊谷達史 (美術作家)  
キヤマミズキ (アニメーション作家)  
口出洋徳 (コトジツ)  
佐々木成明 (多摩美術大学)  
七里 圭 (映画監督)  
田所 淳 (共愛学園前橋国際大学)  
土肥悦子 (こども映画教室®)

仲本拓史 (映像作家)  
名和田克典 (イラストレーター)  
萩原朔美 (映像作家)  
氷川竜介 (アニメ・特撮研究家)  
細田 守 (アニメーション映画監督)  
前川裕介 (映像・写真カメラマン)  
宮原康展 (映像ディレクター)  
森岡東洋志 (ベースドラム)  
安原広和 (東京工科大学)



## 金沢から世界へ。 深く、豊かに学び、大きく羽ばたく。

美術作家として、また研究者として  
より高い領域に到達するための高度なカリキュラム。  
世界を目指し、鍛錬を重ねます。



### 美術工芸専攻

大学院博士後期課程では、「芸術に関する高度な創造および表現の技術と理論を研究教授し、地域の美術工芸の深奥を究め、これを総合的に発展創造させ、自立して創作および研究活動を行うために必要な高度な能力を備えた美術家および研究者を養成すること」を目的とした研究制作指導・博士論文指導を行っています。  
年2回公開の研究発表が行われるほか、「地域美術演習」、「造形総合研究」といった実技と理論を総合した学際的な科目も設けられ、学内外での研究が保証されています。  
博士後期課程の学生たちは国内外で活躍する作家、研究者でもあり、積極的に広く研究活動の場を求めています。1997年の設置以来、作家、デザイナー、研究者、国内外の大学教員など、精力的に活躍している83名の芸術博士を世に送り出してきました。



南野和 「反映」



邱嘉文 「赤のMotion」



王冠賢 「山径徐行」

#### 〈美術研究領域〉

日本画  
油画  
彫刻

#### 〈工芸研究領域〉

陶磁  
漆芸  
金工  
染織

#### 〈デザイン研究領域〉

ホリスティックデザイン  
インダストリアルデザイン

#### 〈芸術学研究領域〉

視覚文化研究  
現代美術研究



大学情報

# 美術工芸研究所

美術工芸研究所では、本学独自の研究の高度化を図ることを目的として、美術・工芸・デザインに関する調査・研究、芸術資料の収集と管理（保存・活用）、アートギャラリーの運営（展覧会）などの事業を行っています。

アートギャラリーでは、本学が所蔵する作品をコレクション展や特別展を通して様々な切り口で公開します。

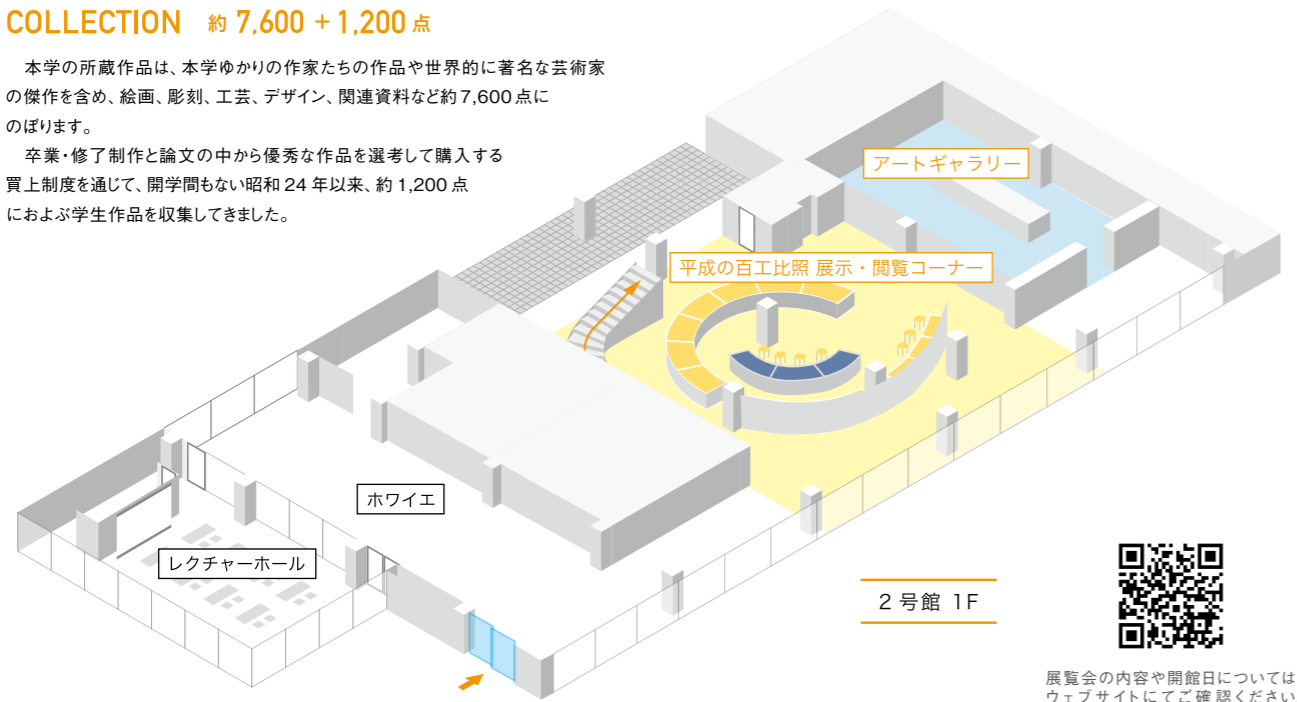
また、現在進行中の調査研究として「平成の百工比照収集作成事業」があります。江戸時代に加賀藩が収集した工芸標本「百工比照」(重要文化財)にちなむ事業で、工芸の制作や理論を専門とする本学教員が全国の産地を訪ね、約6,600点におよぶ資料を収集してきました。その資料は平成の百工比照 展示・閲覧コーナーで閲覧することができます。

美術工芸研究所長 安島諭 教授 (インダストリアルデザイン)  
 山崎剛 教授 (芸術学)  
 村松綾 准教授 (芸術学)

## COLLECTION 約 7,600 + 1,200 点

本学の所蔵作品は、本学ゆかりの作家たちの作品や世界的に著名な芸術家の傑作を含め、絵画、彫刻、工芸、デザイン、関連資料など約7,600点にのぼります。

卒業・修了制作と論文の中から優秀な作品を選考して購入する買上制度を通じて、開学間もない昭和24年以来、約1,200点におよぶ学生作品を収集してきました。



## 平成の百工比照 展示・閲覧コーナー

工芸の材料・技法・制作工程にかかわる見本が箱に納められており、棚から自由に取り出して閲覧できます。



## アートギャラリー

本学所蔵の美術・工芸・デザインに関する作品や資料および学生買上作品を展示公開するための施設です。



鴨居玲「Clown」、リトグラフ



マイセン磁器、ドイツ、20世紀



アートギャラリー内の展示風景 新キャンパス移転記念「金沢美術工芸大学所蔵名品展」

## 教育研究センター

教育研究センターでは、教育研究活動の推進とその成果の発信、FD活動による教育の質的向上、研究不正の防止、および研究倫理の遵守の徹底を目的とし、学内の教員研究費や科学研究費助成事業をはじめとする外部資金による研究の推進、本学教員の研究活動を紹介する研究発表展（金沢21世紀美術館）の開催などの事業を行っています。

教育研究センター長 入矢真一 教授（インダストリアルデザイン）



「金沢美術工芸大学教員研究発表展2025 美大のしごと」  
（金沢21世紀美術館市民ギャラリー）



## 【学外施設】 柳宗理記念デザイン研究所



本学で長年にわたり教鞭をとった、世界的工業デザイナーである柳宗理氏（1915-2011）のデザイン思想やデザイン史における位置づけに関する調査研究を行い、その成果を学生の教育に活かし、広く社会に発信することを目的としています。なお、同氏の貴重な資料はご遺族より金沢市に寄贈され、現在、それを核とするデザインミュージアムの計画が進められています。

柳宗理記念デザイン研究所長 根来貴成 教授（インダストリアルデザイン）



常設展示（展示資料室1）



「技術とかたち-柳宗理の木工家具-曲木」(展示資料室2)

## 社会共創センター



金沢美術工芸大学は社会貢献を教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・産学連携をとって積極的に活動を行っています。本学の持つデザイン、美術工芸分野に関する専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元するとともに、産業や地域の活性化に貢献し、これらの活動を体験することで、より実践的に社会に貢献できる人材を育成します。

社会共創センター長 河崎圭吾 教授（インダストリアルデザイン）

### 地域連携部門

本学のもつ人的資源やノウハウを活用し、地域社会や市民生活に対する芸術文化貢献事業などを通し、グローバルな視点を持ちながら地域の課題解決に取り組んでいます。

### 産学連携部門

地域産業や伝統文化の発展のため、企業、組合団体、他大学、研究機関、国や自治体などと連携し、新しい価値を創出する研究開発や、新たな産業・事業の振興を目指しています。

### 知財管理部門

大学で生まれた知的財産権の管理、活用や戦略立案、知的財産権を通じた社会との連携促進まで、産業界や地域社会と一体となって各連携部門の活動を支援、推進しています。

## 金沢マラソン 完走メダルデザイン・プロジェクト

金沢マラソンは金沢をまるごと「走る!」をキャッチフレーズに2015年から開催されており、金沢の魅力が満喫できるフルマラソンとして大変人気の高い大会となっています。その完走者に贈るメダルのデザインを、初回大会から続けて提案させていただいています。学生たちの豊かな感性をベースにした金沢らしいオリジナリティあるデザインの完走メダルは、毎回、ランナーからも大変好評となっています。



## ホスピタリティアート・プロジェクト

金沢市立病院との連携により2009年から継続して行われている、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探求するプロジェクトです。ステンドグラス風の装飾を制作するワークショップや、病院を作品で満たすホスピタル・ギャラリーなどを通して、患者、医療関係者、学生が同じ視点で時間を共有するコミュニケーションの在り方を研究しています。



## 「プライドポテトJAPAN 金沢の甘えび」 パッケージデザイン・プロジェクト

株式会社湖池屋との連携研究として2020年から行われているプロジェクトです。「日本の誇り」をプライドポテトにのせて発信することで、日本の風土・文化により育まれてきた歴史や精神に象徴される日本の素晴らしさを世の中に広めるプロジェクトで、金沢を代表する甘えび味の商品パッケージデザインを学生たちが制作し、金沢市内の小学生や市民の投票結果を踏まえ最終案が商品化されています。毎年、全国販売され好評を得ています。



## 金沢らしさを表現した新しい水菓子容器のデザイン研究

金沢市に拠点を置く食品容器メーカー馬場化学工業との産学連携プロジェクトは、真空成形の技術を用いて既存の商品にはない明確な特徴と価値を求めて、新しいパッケージの提案を10年以上続けて行ってきました。近年は、SDGsの視点や、金沢らしさの表現も加え、和菓子の定義を議論し、思わず手に取りたくる美しくて魅力的な水菓子容器のデザインを、企画から和菓子との関わり方等のストーリーまで含め提案しています。



## 国際交流センター



世界を舞台に活躍する芸術家、デザイナー、研究者などの育成を目指し、海外作家講演会、海外作家招聘事業、大学間交流などの国際交流活動を行っています。

国際交流センター長 稲垣健志 教授（一般教育等）

### 海外作家講演会

海外のアーティスト、デザイナー、大学教員、研究者等による講演会です。

各分野の専門知識や最新の情報・動向を得る機会を提供しています。



ホール・ウィリアム・ロス 氏

### 大学間交流

アントワープ王立美術アカデミー（ベルギー／アントワープ）、ナンシー国立高等美術学校（フランス／ナンシー）、ナント・サン＝ナゼール高等美術学校（フランス／ナント）、清華大学美術学院（中国／北京）などと交流協定を結び、学生・教職員の相互派遣などを行ってきました。今後も順次大学間交流を拡充していく予定です。



エディンバラ大学からの留学生との交流



ナンシーからの留学生との交流



アントワープ留学の様子



デンマーク留学の様子

## 附属図書館



### 万巻の書籍から、ひらめく発想がある

附属図書館は美術・デザイン・工芸分野を中心に、国内外の図書や雑誌などを収蔵している専門性の高い図書館です。その中には発行部数の少ない貴重な書籍や展覧会の図録、今では入手困難な洋書、美術作品のような画集なども含まれており、その多くが閲覧フロアで気軽に手に取れるようになっています。

大学における附属図書館は学修・教育・研究を支える存在であるとともに、学生の自発的な学びを後押しする場所です。自分自身の思考を育て制作の基盤を作るためには現在の美術界の動向を知るとともに、過去から受け継がれてきた美術やデザイン、工芸の歴史、技術等を主体的に理解することが不可欠です。それには美術史等の分野に加えて、国内外の歴史、哲学、文学、社会学等の分野を幅広く学ぶことも大切です。大学では様々な授業や正課外の活動を通じた教員、友人との交流が皆さんの創造性を刺激してくれますが、何気なく手にした本、偶然目にした画集からもひらめきを得られるでしょう。そのひらめきを単なる思いつきではなく自身の作品に昇華し、世界での自分の位置を考えるための環境が整っています。大学図書館司書によるレファレンスサービスもぜひ活用してください。

附属図書館がある2号館には美術工芸研究所が併設されており、附属図書館に立ち寄ることで本学コレクションやアートギャラリーの展示等からも刺激を受けるでしょう。

何を学ぶかは個人の選択であり、偶然の産物かもしれません。附属図書館や美術工芸研究所でも素晴らしい出会いがあることを期待しています。

附属図書館長 桑村佐和子 教授（一般教育等）



### 蔵書 2026.3.31現在

図書	127,936 冊
和書	98,424 冊
洋書	29,512 冊

雑誌	1,398 誌
和書	1,230 誌
洋書	168 誌

視聴覚	3,101 タイトル
-----	------------

### 利用状況 2025年度

入館者数	16,525 人
------	----------

貸出冊数	10,770 冊
------	----------

市民登録者数 (累計)	1,256 人
-------------	---------

## 学生生活

### 美大祭

毎年11月初旬、本学創立記念日(11月7日)の前に、自治会(美大祭実行委員会)の主催で美大祭を開催しています。作品展示、講演会、仮装パレード、屋外模擬店、ステージイベントなど多彩な催しです。学生・教職員相互の親睦はもとより、市民との交流を深める行事です。



### 五芸祭

愛知県立芸術大学・沖縄県立芸術大学・京都市立芸術大学・東京藝術大学・本学の五芸術大学の交歓会で、体育競技会、文化交流会を通じて、課外活動の発展を促進し、学生相互の親睦を図ることを目的に、毎年5月～6月頃に各大学の輪番制で開催しています。



### 学外研修

各専攻実習授業の一環として、年に3日～6日間の研修が実施されています。各専攻の研究内容、社会状況、学生事情等に合わせた計画・研修地が選ばれ、国内外の古美術研修、郊外写生授業、企業実習体験、アトリエ訪問などを行います。学生にとっては数少ない宿泊を伴う研修で、近年は海外研修を実施する専攻もあり、楽しみにしている学生が多いです(旅行費用等は入学時に納入)。



### 卒展・卒業式

毎年2月に卒業・修了制作展が開催され、学生生活の集大成となる作品を展示しています。本学関係者のみならず、多くの市民の方が足を運び、作品を鑑賞していただいております。また、3月に開催される卒業式では、自身で制作した仮装姿で式に臨む卒業生が多くなります。その歴史は昭和50年代初め頃までさかのぼり、脈々と受け継がれる本学の名物となっています。



### クラブ活動

体育系、文化系のみならず、本学ならではの個性的なクラブがあり、多くの学生が活動に参加しています。のびのびとスポーツを楽しむ、同じ趣味の仲間が集うといったクラブが多く、学年、学科・専攻を越えた友好の場となっています。

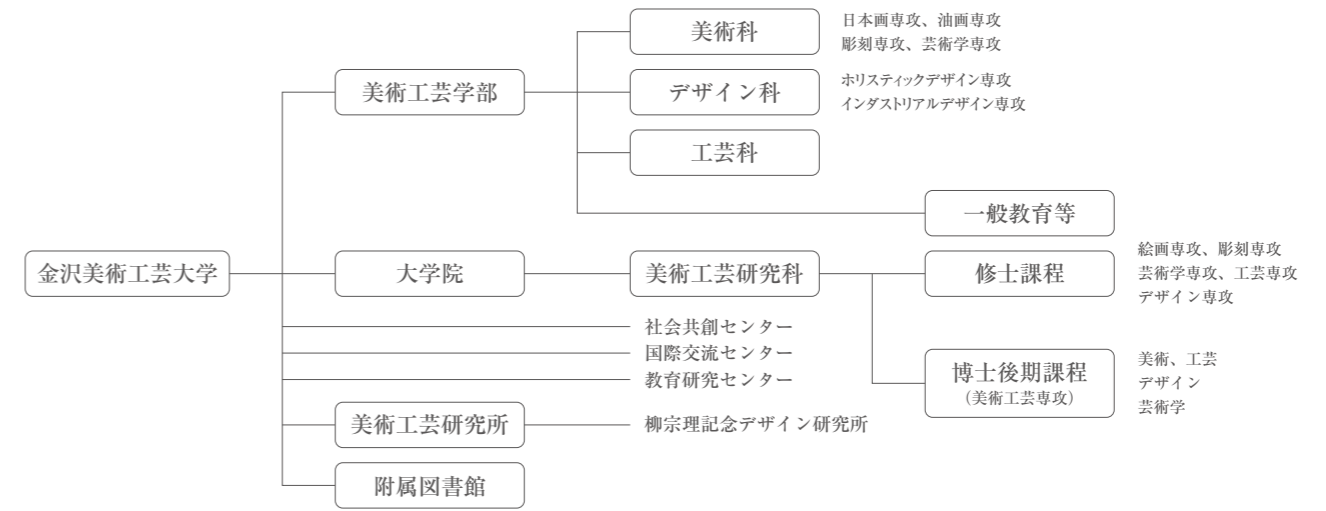


### 生活支援

学内には、食事を提供する学生ラウンジ、画材を調達できる売店、保健室、様々な相談を気軽にできる学生相談室を開設しています。その他、日本学生支援機構をはじめ各種の奨学金を申請することができます。また、留学を志す学生には海外の交流提携大学への派遣制度もあります。



## 大学の組織 (2026)



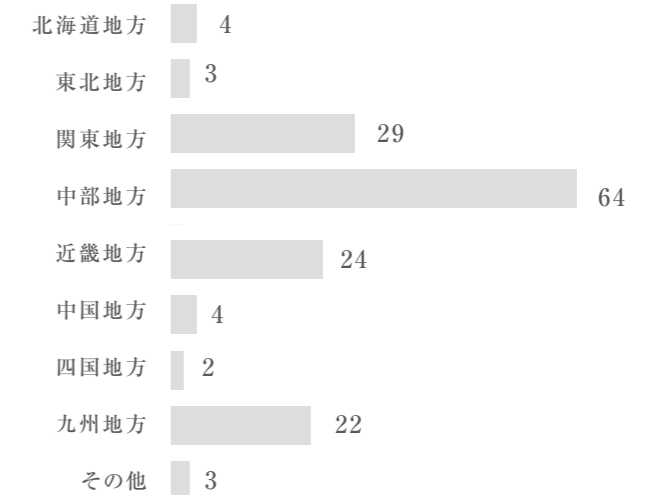
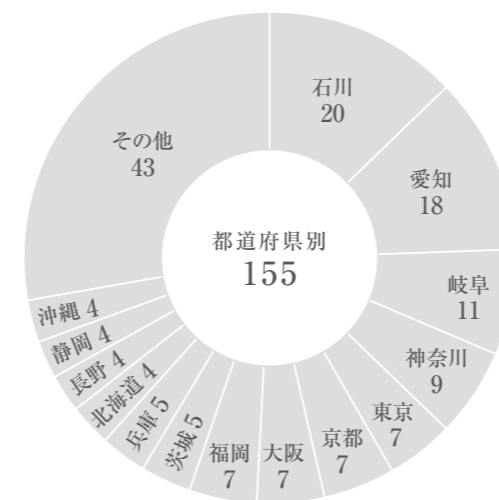
## 学生数 (2026)

学 部			
学科	専攻	入学定員	収容定員
美術科	日本画	15	60
	油画	25	100
	彫刻	15	60
	芸術学	10	40
デザイン科	ホリスティックデザイン	40	160
	インダストリアルデザイン	20	80
工芸科		30	120
合計		155	620

修士課程		
専攻	入学定員	収容定員
絵画	14	28
彫刻	4	8
芸術学	4	8
デザイン	6	12
工芸	13	26
合計	41	82

博士後期課程		
専攻	入学定員	収容定員
美術工芸	7	21
合計	7	21

## 出身校所在地別入学者数 (2026)



## 入学試験結果（学部）

		2026年度（令和8年度）						入学者
		一般選抜			推薦入試			
		募集人員	志願者	倍率	募集人員	志願者	倍率	
美術科	日本画	15	112	7.5	－	－	－	15
	油画	25	162	6.5	－	－	－	25
	彫刻	15	79	5.3	－	－	－	14
	芸術学	7	17	2.4	3	11	3.7	11
デザイン科	ホリスティックデザイン	40	291	7.3	－	－	－	40
	インダストリアルデザイン	18	65	3.6	2	19	9.5	20
工芸科		24	100	4.2	6	27	4.5	30
合計		144	826	5.7	11	57	5.2	155

◎公式Youtubeチャンネルで入試合格作品に関する解説、講評など入試説明動画を公開しています。



## 学費（学部）

入学金	金沢市内居住者	282,000円	入学手続時に納入	
	上記以外の者	423,000円		
授業料	年間	535,800円	4月30日までに納入 10月31日までに納入	
	前期分（4月～9月）	267,900円		
	後期分（10月～3月）	267,900円		
その他の経費	成美会費（後援会費）	60,000円	入学手続後に納入	
	学生自治会費	10,000円		
その他の経費（専攻別）	研修旅行費	日本画専攻	100,000円	入学手続後に納入
		油画専攻	250,000円	
		彫刻専攻	130,000円	
		芸術学専攻	160,000円	
		インダストリアルデザイン専攻	300,000円	
		工芸科	180,000円	
	専攻実習費	日本画専攻	110,000円	入学手続後に納入
		油画専攻	100,000円	
		彫刻専攻	290,000円	
		ホリスティックデザイン専攻	100,000円	
		インダストリアルデザイン専攻	120,000円	

※入学金・授業料等は改定される場合があります。  
 ※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。  
 ※納入した入学金・授業料は返還しません。  
 ※高等教育の修学支援制度の対象となっています。

## 奨学金（学部・大学院）

	2025年度（令和7年度）			
	給付・貸与の別	支給対象の学生数	対象	1件あたりの年間支給額
日本学生支援機構奨学金（第一種）	貸与	104	学部	(平均) 298,000円
日本学生支援機構奨学金（第二種）	貸与	110	学部	(平均) 709,000円
日本学生支援機構奨学金（第一種）	貸与	19	大学院	(平均) 907,000円
日本学生支援機構奨学金（第二種）	貸与	4	大学院	(平均) 990,000円
日本学生支援機構奨学金	給付	149	学部	(平均) 282,000円
吉原育英会	給付	1	学部	240,000円
クマ財団 クリエイター奨学金	給付	1	学部・大学院	1,200,000円
三谷育英会	給付	1	学部・大学院	552,000円
国際瀧富士美術賞 奨学生	給付	1	学部	300,000円
佐藤国際文化育英財団	給付	2	学部・大学院	360,000円
奥谷禮子財団奨学生	給付	2	学部・大学院	360,000円
いであ環境・文化財団奨学生	給付	1	学部・大学院	200,000円
神山財団	給付	1	大学院	300,000円
キーエンス財団	給付	1	学部	300,000円

（令和8年3月現在）

## 奨学金（外国人留学生）

	2025年度（令和7年度）			
	給付・貸与の別	支給対象の学生数	対象	1件あたりの年間支給額
石川県私費外国人留学生奨学金（入学から1年未満）	給付	1	大学院	240,000円
日本台湾交流協会日本奨学金	給付	2	大学院	2,190,000円
神林留学生奨学金	給付	2	大学院	1,680,000円
ロータリー米山奨学金	給付	2	大学院	1,680,000円
平和中島財団外国人留学生奨学金	給付	1	大学院	1,800,000円

（令和8年3月現在）

## 教員一覧

客員教授	
内田あぐり（日本画）	
奥田瑛二（油画）	
近藤昌美（油画）	
前本彰子（油画）	
りんたろう（油画）	
黒坂圭太（映像）	
青木野枝（彫刻）	
棚田康司（彫刻）	
木村絵理子（芸術学）	
堀川理沙（芸術学）	
山本豊津（芸術学）	
石井秀幸（ホリスティックデザイン）	
羽良多平吉（ホリスティックデザイン）	
国井美果（ホリスティックデザイン）	
日野雅司（ホリスティックデザイン）	
鈴木元（インダストリアルデザイン）	
高木紀明（インダストリアルデザイン）	
田中一雄（インダストリアルデザイン）	
福定良佑（インダストリアルデザイン）	
山中俊治（インダストリアルデザイン）	
和田智（インダストリアルデザイン）	
秋山陽（工芸）	
飯野一朗（工芸）	
天野一夫（工芸）	
林暁（工芸）	
福本繁樹（工芸）	

日本画	
[教授]	
佐藤俊介	
荒木恵信	
石崎誠和	
[准教授]	
松永敏	
[講師]	
北川由希恵	

[非常勤講師]	
荒木史（装演師）	
岩田壮平（武蔵野美術大学）	
岡村桂三郎（多摩美術大学）	
北川優羽（保存修復）	
北澤憲昭（美術評論家）	
岸野香（女子美術大学）	
新恵美佐子（作家）	
高島圭史（東京藝術大学）	
塚本麿充（東京大学）	
土屋禮一（本学名誉客員教授）	
中村賢次（崇成大学）	
中村徹（作家）	
並木秀俊（戯金）	

仁志出龍司（本学名誉教授）	
野地耕一郎（泉屋博古館東京）	
能島浜江（作家）	
松崎十郎（作家）	
村居正之（作家）	
森美樹（作家）	
山田毅（作家）	
山本隆（作家）	
米谷清和（作家）	

油画	
[教授]	
三浦賢治（絵画）	
大森啓（絵画）	
高橋治希（絵画・立体・空間表現）	
鈴木浩之（絵画・映像）	
岩崎純（絵画・ミクストメディア）	
[准教授]	
武田雄介（絵画・インスタレーション）	
[講師]	
早見紗也佳（映像）	

[非常勤講師]	
石田尚志（多摩美術大学）	
岩瀬貴憲（版画作家）	
江口綾音（作家）	
奥野恵（アートフロントギャラリー）	
神谷佳男（版画作家）	
喜井豊治（モザイク作家）	
佐藤一郎（本学名誉客員教授）	
末松智（歴史考証復元画家）	
高松美咲（まんが家）	
唐仁原希（京都市立芸術大学）	
中川暁文（作家）	
西山美なこ（作家）	
丹羽洋介（作家）	
長谷川新（インディペンデントキュレーター）	
原 崇浩（作家）	
東村アキコ（まんが家）	

福島唯史（日本大学）	
藤原工（照明デザイナー）	
細田守（アニメーション映画監督）	
前川裕介（映像・写真カメラマン）	
松村浩之（富山大学）	
MIOKO（アーティスト、役者、モデル）	
宮原康展（CMディレクター）	
村上良（ホルベインラボ株式会社）	
山本順子（作家）	
山本基（作家）	
横江昌人（作家）	

彫刻	
[教授]	

[教授]	
土井宏二	
浜田周	
芝山昌也	
[准教授]	
伊藤幸久	
[講師]	
七搦綾乃	

[非常勤講師]	
林一平（彫刻家）	
渡辺秀亮（彫刻家）	
本郷芳哉（彫刻家）	
宮永愛子（作家）	
富長敦也（彫刻家）	
松本拓也（舞踏家）	
阿部乳坊（彫刻家）	
胡宮ゆきな（作家）	
野村由香（作家）	
笹井南海（彫刻家）	
岡田榮吉（匠雲堂）	

芸術学	
[教授]	
山崎剛（工芸史・工芸論）	
よしだぎょうこ（現代美術）	

[准教授]	
金島隆弘（アートプラクティス・キュレーション）	
村松綾（西洋美術史）	

[講師]	
折居耕拓（美学・芸術評論）	

[非常勤講師]	
佐直麻里子（アーティスト）	
笹井南海（彫刻家）	
林一平（彫刻家）	
名雪園代（漆造形作家）	
岡泰央（岡墨光堂）	
塩谷純（東京文化財研究所）	
古川萌（名古屋工業大学）	
高野詩織（町田市立国際版画美術館）	
長谷川新（インディペンデントキュレーター）	
荒木慎也（多摩美術大学）	
保井亜弓（本学名誉教授）	
上田恒夫（本学名誉教授）	
上田政臣（版画）	
中村恭子（別府プロジェクト代表）	

ホリスティックデザイン	
[教授]	

寺井剛敏（ブランディング）	
鐙隆弘（ランドスケープ）	
鈴木康雄（映像）	
畝野裕司（パッケージ）	
北村賢哉（プロダクト）	
坂野徹（エディトリアル）	

[准教授]	
清水啓太郎（空間演出）	
西本耕喜（建築）	
高田大資（グラフィック）	
樺島脩（ゲーム）	

[非常勤講師]	
※現視覚デザイン専攻・現環境デザイン専攻の非常勤講師を含む	

朝山勝允（NIKEデザイナー）	
阿部雅世（本学名誉客員教授・SXD.Lab）	
池田洋一郎（ミュージシャン）	
石井うさぎ（ExecutiveCreativeDirector）	
伊藤悠記（BB media inc.）	
井口勇輝（良品計画）	
上岡大介（株式会社セガ）	
上坂達朗（東洋設計）	
大友聡（良品計画）	
岡野邦彦（Shotype Design）	
岡本和士（OKAMOTO STUDIO）	
沖津真美（Epic）	
尾上永晃（クリエイティブディレクター）	
椋本真由子（パナソニック エレクトリックワークス）	

工藤桃子（MMA Inc.）	
熊崎信也（ハル研究所）	
駒井麻朗（MA・DO Inc.）	
佐々木準（オインクゲームズ）	
白井敬尚（グラフィックデザイナー）	
鈴木克彦（博報堂）	
高橋歩（クリエイティブディレクター）	
高村達（写真家）	
館田千里（日高ニアートスクール金沢）	
鳥海修（書体設計士）	
中川暁文（作家）	
中谷亜未（博報堂）	
中村政義（アラクチャー株式会社）	
藤崎圭一郎（東京藝術大学）	
まごつき（Hurray!）	
又野健太郎（プロデューサー）	
松本宏之（パナソニック コネクト）	
神子澤知弓（神子澤知弓デザイン事務所）	
三澤直加（グラフィッド）	
三笥翼（デザイナー）	
水口克夫（Hotchkiss）	
南正一郎（株式会社博展）	
三村起一（地球環境戦略研究機関）	
山口省一（mycolorsp）	
山本周（山本周建築設計事務所）	
山本悠平（パナソニック コネクト）	

由田徹（ユウプラス建築設計）	
米村浩（BrightSideLLC／博報堂）	
頼安ブルノ礼市（建築設計施工）	

インダストリアルデザイン	
[教授]	
河崎圭吾（家電デザイン）	
安島諭（公共用品デザイン）	
入矢真一（UI・UXデザイン）	
根来貴成（家具・インテリア製品デザイン）	

[准教授]	
矢島幹生（モビリティデザイン）	

[非常勤講師]	
秋田純一（金沢大学）	
石井うさぎ（ExecutiveCreativeDirector）	
石田暁基（パナソニック）	
稲垣揚平（エイジデザイン）	
上町達也（雪花）	
大木嘉人（ソニー）	
片山恵介（スズキ）	
辛島隆（オカムラ）	
小倉ひろみ（スタジオオピーバ）	
熊崎純一（NEC）	
越野亮（石川工業高等学校）	
佐藤和子（デザイン・ジャーナリスト）	
猿渡義市（日南クリエイティブベース）	
高野潤（Design Studio iD4）	
館田千里（オータニアートスクール）	
田潤寛之（ICOMAinc.）	
都筑亮志（ミュージー）	
都賀美有紀（関西学院大学）	
長田典子（関西学院大学）	
永原隆（DDS）	
林信之（ITジャーナリスト）	
日高一樹（日高国際特許事務所）	
藤田光一（柳工業デザイン研究会）	
益田文和（オープンハウス）	
三澤直加（グラフィッド）	
水口克夫（Hotchkiss）	
山田和紀（山田デザイン）	
山村有史（パナソニック）	
米村浩（BrightSideLLC／博報堂）	
渡邊恵太（明治大学）	
渡辺佑介（株式会社WD）	
綿引哲也（日南クリエイティブベース）	

工芸	
[教授]	
山本健史（陶造形）	
原智（戯金）	
大高亨（楽織）	
池田晶一（陶造形）	

足立真実（織）	
加賀城健（染色）	
吉野貴将（漆芸）	

[准教授]	
宮永春香（陶磁）	
青木千絵（漆造形）	
水代達史（彫金）	
上田剛（鍍金）	

[講師]	
金保洋（漆造形）	

[非常勤講師]	
〈陶磁〉	
手島敦（陶磁・釉薬）	
中田雅巳（陶磁・ロクロ）	
田聡美（ガラス）	
牟田陽日（陶磁・上絵）	
角目里美（陶磁・上絵）	
今西泰起（陶磁・蒔壺焼成）	
板屋成美（陶磁・加飾）	
三浦晃禎（陶磁・染付）	
〈漆木工〉	
山岸一男（沈金）	
田村一舟（漆芸・蒔絵）	
大藪泰（漆材料科学）	
金田一司（木工芸・刳物）	
荒川文彦（漆芸・抜漆）	
酒井忍（木工芸・指物）	
名雪園代（漆芸）	
田中俊也（木工芸・挽物）	
〈金工〉	
桂盛仁（彫金・重要無形文化財技術保持者）	
中川衛（彫金・重要無形文化財技術保持者）	
藤田政利（鍛造）	
田口史樹（ジュエリー）	
宮崎匠（鍍金・惣型）	
角居康宏（鍍金）	
杉村紗季子（精密鍛造）	
〈染織〉	
毎田健治（友禪）	
関島寿子（バスケットリー）	
平木有二（染織研究）	
平木三重子（織物）	
八幡はるみ（染色）	
宮越仁美（刺繍）	
館正明（染色）	
吉本大輔（友禪）	
弘田朋実（織物）	
岩井美佳（デジタルファブ리케이션）	
山下郁子（織）	
ジョリー・ジョンソン（フェルト）	
〈共通〉	
幸松由楽（華道）	
奈良宗久（茶道）	

金谷勉（クリエイティブディレクション）	
金堂佳永子（就職面接マナー演習）	
山本浩貴（現代工芸論Ⅱ）	

一般教育等	
[教授]	
高橋明彦（日本文学）	
桑村佐和子（教育学）	
大谷正幸（化学・エルゴソフィ）	
荷方邦夫（心理学）	
渋谷拓（博物館学）	
吉田明代（英語・アメリカ文学）	
稲垣健志（英語・イギリス文化）	

[講師]	
桐谷慧（仏語・哲学）	

[非常勤講師]	
佃貴弘（北陸大学）	
田中うらら（金沢大学）	
松永篤知（金沢大学）	
高橋律子（キュレーター、研究者）	
東雅宏（白山市役所）	
正木恵美（語学講師）	
廣田篤（語学講師）	
ブラッド・ウインフィールド（語学講師）	
マーク・ハモンド（金沢大学）	
真部大輔（語学講師）	
神谷佳男（語学講師）	
高橋麻帆（語学講師）	
石黒盛久（金沢大学）	
村戸弥生（語学講師）	
宮口貴義（体育講師）	
熊谷史佳（体育講師）	
竹井早葉子（体育講師）	
小林宏明（金沢大学）	
杉森公一（北陸大学）	
坪田美如（高校教員）	
中島照雄（中学校教員）	
西澤明（中学校教員）	
羽場政彦（元中学校教員）	
松崎厚（中学校教員）	
松田聡（小学校教員）	
大向もも（金継ぎ師・中学校教員）	
森田ゆかり（金城大学短期大学部教員・中学校教員）	
横江昌人（作家／高校教員）	
鷺山靖（金沢大学）	
在田有里子（工芸史家）	
川端典子（朝日理蔵文化財センター・まいぶんKAN）	
近藤浩二（滑川市立博物館）	
中川靖子（富山市学芸員）	

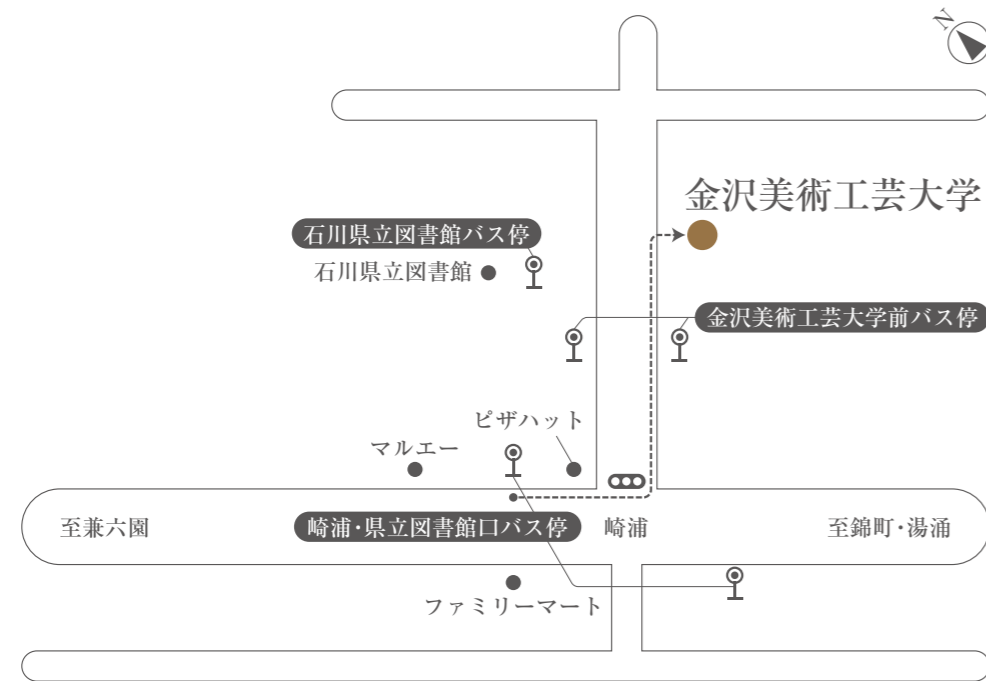
基礎科目	
[非常勤講師]	

宮原康展（映像メディア、コンピュータグラフィックス）	
庄司メアリ拓郎（コンピュータグラフィックス）	
青木芳昭（日本美術史Ⅱ）	
蘇哲（東洋美術史I、II、専門語学（中国語））	

高野禎子（西洋美術史Ⅱ）	
木田拓也（工芸史I）	
皆川嘉孝（彫刻I）	
笹井南海（彫刻Ⅱ）	
岩瀬貴憲（絵画Ⅱ（版画））	
尾崎紀之（美術解剖学）	
ブラッド・ウインフィールド（専門英語演習）	
坂本希和子（色彩論）	
前川満良（色彩論）	
今中博之（色彩論）	
青山征彦（デザイン心理学）	
坂本英之（建築論）	
橋本浩司（建築論）	
山本周（建築論）	
本橋仁（建築論）	
谷口俊平（図学）	
末松智（図学）	
北谷至啓（絵画Ⅲ（フレスコ））	
渡部匡人（工芸Ⅱ《ガラス》）	
藤野征一郎（工芸Ⅲ《木工》）	
弘田朋美（工芸Ⅳ《染織Ⅳ》）	
渡邊明敏（専門語学（英語））	
青柳りさ（専門語学（フランス語））	
保井亜弓（専門語学（ドイツ語））	
マーク・ハモンド（造形表現工ⅡⅢ《語学・理論／芸術と言語表現》）	
上田恒夫（専門語学《イタリア》）	

大学院修士課程 映像コース	
[非常勤講師]	
石田尚志（多摩美術大学）	
大川景子（映画監督）	
菊谷達史（漫画作家）	
キヤマミズキ（アニメーション作家）	
口出洋徳（コジツ）	
佐々木成明（多摩美術大学）	
七里圭（映画監督）	
田所淳（共愛学園前橋国際大学）	
土肥悦子（こども映画教室®）	
仲本拡史（映像作家）	
名和田克典（イラストレーター）	
萩原胡美（映像作家）	
氷川竜介（アニメ・特撮研究者）	
細田守（アニメーション映画監督）	
前川裕介（映像・写真カメラマン）	
宮崎昭秀（クリエイティブ ディレクター）	
宮原康展（映像ディレクター）	
森岡東洋志（ベースドラム）	
安原広和（東京工科大学）	

## アクセス



## 大学への交通

電車：金沢駅下車

バス：金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル 6番のりば（乗車約30分）

- ① 石川県立図書館ゆき
- 「金沢美術工芸大学前」バス停で下車

「崎浦・県立図書館口」バス停もあわせてご利用ください（美大まで徒歩約3分）

金沢駅東口（兼六園口）バスターミナル 6番のりば（乗車約20～25分）

- ① 金沢学院大学ゆき／東部車庫ゆき／辰巳丘高校ゆき
- ② 湯涌温泉ゆき／北陸大学太陽が丘ゆき／北陸大学薬学部ゆき
- ⑥ 上辰巳ゆき

金沢駅西口（金沢港口）バスターミナル 5番のりば（乗車約25分）

- ⑩ 東部車庫ゆき／金沢学院大学ゆき

タクシー：金沢駅 から 約20分

自動車：北陸自動車道 金沢森本IC から 約15分  
金沢西IC から 約25分

航空機：小松空港 から リムジンバス（乗車約40分）  
金沢駅下車（駅からは、バスかタクシーにて）

## 金沢のまち

ようこそ、文化のまち・金沢へ。

金沢市は、石川県のほぼ中央に位置し、市街地は、寺町台、小立野台、卯辰山の3つの台地の間を犀川、浅野川の二つの河川が流れる、自然豊かな起伏に富んだ地形となっています。

まちの歴史としては、一向宗徒の勢力が強まり、農民を中心とした信者が加賀の守護富樫正親を高尾城に滅ぼした後、真宗本願寺の末寺として建立した「金沢御堂」を加賀一向宗の中心としてまちがつくられたことが始まりと言われています。以後、佐久間盛政が金沢御堂を滅ぼした後に金沢城を築き、盛政死後、前田利家が金沢城に入城し、江戸時代には加賀・能登・越中を合わせた加賀百万石の城下町として繁栄してきました。明治に入り、県庁所在地として行政・文化・経済の中心として、隣接町村との合併により拡張して現在に至っています。

このように形成されてきたまちですが、特に中心部は、惣構や用水網など城下町の都市構造や茶屋街、寺院群などの歴史的まちなみを今に残しています。その歴史の積み重ねが、茶の湯・能・庭園などに人々の営みを今も息づかせており、国の歴史都市認定（平成21年）や重要文化的景観の選定（平成22年）に繋がっています。

また、人々の暮らしの中に息づく伝統工芸は、金沢の豊かな気候風土や四季の織りなす彩が、その発展を支えてきました。こうした、本市に残る伝統工芸の多くは、加賀藩主前田家の歴代藩主が京都や江戸から名工を招聘し、これに加賀伝来の素材や技術が相まって、武家文化の豪華さと繊細さをあわせもつ独自のデザインとして確立されてきました。明治以後も官民一体となった取り組みによって暮らしに息づいてきた文化と産業が連環してまちに活力を与えており、クラフトの分野でユネスコより創造都市として登録（平成21年）されました。

一方、金沢市には、今や世界に誇る現代美術館である「金沢21世紀美術館」、日本海側初の国立美術館である「国立工芸館」、世界へ建築文化を発信する「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」を始めとした様々な近現代の美術・文化を学ぶことができる施設を新たに開館するなど、都市として今も革新の営みを続けています。

このように、まち全体で歴史と豊かな自然に裏打ちされたほんものの日本の文化や日本の美意識を体感できる金沢市は、世界から訪れるべきまちとしても認められています。このまちにある金沢美術工芸大学で学ぶことは、大学における学びに加えて五感で感じる「ほんものの文化」との出会いを意味し、そのかけがえのない経験は、あなたの感性と創造力を磨いていくことでしょう。

さあ、このまちで共に、「手で考え、心でつくる。」、そんな新しい学びの扉を開きませんか。

